

●モノグラフ

小学生ナウ

Vol. 11-12

日本のお父さん

目次

子ども研究ノート(その11)	変わりつつある父親像	2
----------------	------------	---

調査レポート

日本のお父さん

要約	6
はじめに	10
1. 全国調査の概要	
●方法	11
●サンプル校について	13
2. 子どもの目がとらえたお父さん	
●父親の生活実態	15
●父親は家で何をしているか	19
●「立てられなくなった」お父さん	23
●両性具有型の父親イメージ	26
●父親についての知識	28
●自慢できるお父さん	30
●それでも自分の目標にはなりえない	32
3. 新しい父親像を追って	
●校区の特性とのクロス集計から	33
●子どもの成長モデルとしての父親像	35
●「世話をする」父親をめぐる	36
●力をもつ父親	39
●マルチ・ロール型の父親像	41
●まとめ	43
資料1 調査票見本	44
資料2 基礎集計表	51
資料3 調査票見本および集計結果(学校用)	56

*おことわり：本文中に使用した写真は、本文・テーマとはいっさい関係ありません。

変わりつつある父親像

静岡大学教授

深谷 昌志

●父親の役割

父親が変わったといわれる。たしかにそうだと思う反面、そうした指摘をする人が、いつの時代の父親像をイメージにおいて変化したかといっているのかが気がかりとなる。

現在、家族社会学や発達心理学などの研究者が父親を語る時、もっともポピュラーに引用されるのが、アメリカの社会学者、パーソンズの理論である。パーソンズは「道具的」(instrumental)と「表出的」(expressive)という、なんとも訳しにくい概念を提唱している。この2つの概念は、パーソンズが研究仲間のベールズとともに、小集団を対象とした共同研究を重ねる過程で見いだしたもので、何人かの人間が小さなグループを作って、なんらかの課題を解決しようというとき、そこには目標をきめてメンバーを引っばるタイプと、さまざまな不満をなだめるタイプという2つのリーダーが生まれるという。具体的には、職場でも趣味のサークルでもよいのだが、つねに新しい目標を提示して、み

んなを駆り立てるのが「道具的」なリーダーの役割である。しかし、目標を達成しようとするれば当然、オーバーワークになったり、日のあたる場にいる者といない者との間のあつれき、あるいは能力差に伴う葛藤が生じてくる。そうした不満を聞いてやり、メンバーの気持ちを和らげてやるのが「表出的」リーダーの役割となる。

通常、リーダーシップという概念で、前者の役割を連想することが多い。しかし、パーソンズは「道具的」と「表出的」とは、ともに集団を維持するのに不可欠のリーダーなのだという。

「道具的」リーダーのみの集団では、一時的に生産性が上がるにしてもメンバーの不満がうっせきして集団から脱落する者が生じ、集団内のモラルが低下していく。それに対し「表出型」リーダーの率いる集団は、和が保たれる代わりに、新しい目標が提示されないの、やる気に富んだメンバーが離脱するだけでなく、活動が全体として停滞しマンネリ化していく。したがって「道具的」と「表出

的」のリーダーが相互に役割を補充し合い、それぞれの機能を果たすとき、その集団は安定するというのである。

こうしたパーソンズ以外にも、小集団や家族の研究などを通して、2つのリーダーシップの存在を指摘している学者は多い。例えば、経営学者のバーナードは『経営者の役割』の中で、「有効性」(effectiveness)と「能率」(efficiency)という概念を提出している。この2つのうち、「有効性」は目的達成の観点から、「能率」が充足感の側面からとらえられているので、パーソンズのいう「道具的」と「有効性」、「表出的」と「能率」との概念は類似している。

また、グループ・ダイナミックスの研究で知られる三隅二不二氏も、集団の目標達成を目的とする「遂行」(performance)する機能と成員の精神的な安定を図り、集団を「維持」(maintenance)する機能とが、グループの形成に不可欠だと指摘している。この場合の遂行と維持も、パーソンズの「道具的」・「表出的」と、基本的な発想を同じくしている。

また、ユング派の心理学者・河合隼雄氏は、『母性社会日本の病理』の中で、母性の原理を「包含する」、父性を「切断する」としてとらえている。すべての子を無条件で愛し、限りなく受け入れ、包み込むのが母性だとするならば、善悪や優劣のけじめをはっきりとさせ、劣った子を切り捨て、優れた子を抜てきするのが父性原理だという。こうした発想をさらに発展させ、河合氏は母性を平等主義、父性を能率主義として要約し、現代を父性の失われた母性優先の社会だとみて、示唆に富む日本社会論を展開している。

その他、母親の役割行動が文化の違いを越えて共通しているのに、父親の役割はその社会により違いが大きいという文化人類学者

マーガレット・ミードの指摘や、出産や育児のような直接的な接触を持たないから、父親の存在はイマジネーションの産物であるというボーボアールのような見方もある。

いずれにせよ、これらの父親論は、父親を母親との対比の中でとらえ、その違いを明確にすることによって、父親らしさを抽出しようとする立場に立脚している。そして、すでにふれたように、過去に基準を求めるなら、そうした理論はかなりの妥当性を持つといわねばならない。出生してからのしつけ、教育、将来の進路が男子と女子とでまったく異なっていたのであるから、そして、男子は社会的な権威を持つように、女子は家庭を守るようにしつけられてきたのであるから、そのように育てられた男女が結婚し、父親と母親になれば、父親が「道具的」になり、母親が「表出的」な態度をとるのも当然であろう。

『タテ社会の人間関係』の著者として知られる中根千枝子氏は、文化人類学的な見識をふまえて、父親の成り立つ基盤が、

- ① 父親の仕事を息子が継ぐこと
- ② 家族の構成人数が多いこと

であるといっている。たしかに、職業の世襲が可能であって、父親の持つ技術や知識が息子に伝達できるのであるなら、父親の権限は強まってこよう。

●父親は変わっていく

この中根論文を収録した『オヤジ—父なき時代の家族』の中では、中根氏は上記の指摘に続いて、戦後日本の父親が権威を失った原因として、

- ①、人間関係の異常接近—家族サイズが小さくなり、父親が父親としての権威を保ちにくくなった
- ② 生活空間の異常接近—住宅が小さくなり、子どもたちが素顔の父親と接するよ

うになってしまった

- ③ 情報の異常接近—マス・メディアの発達により、誰でもが情報を入手できるようになった
- ④ 経済の異常接近—賃金格差がなくなり、誰でも、ある程度の収入を得ることが可能になった

の4つの「異常接近」をあげている。それぞれに納得できる理由だが、こうした状況は②の住宅環境、③のマス・メディアなど、どれをとっても、ここ当分続くと予想されるものばかりである。したがって、こうした前提で論旨を展開するなら、父親の権威は歯止めなしに長期低落傾向をたどると予想せざるを得ない。

つまり、社会構造的な大きな変化が生じている現在だけに父親の役割も変貌せざるを得ない。そうした変化を以下、列挙してみよう。

① 職場に生きがいを見いだしにくい。現代は組織の巨大化の時代といわれる。そして

大企業と中小企業との両極化が進み、近年の傾向では大企業の優位は否定しがたい。しかし、大企業では大型コンピューターが支配し、少数の意志決定者を除くと、全体計画のわからないまま、断片化された仕事に従事する者の増加を招く。機械化の導入により、肉体的な疲労を伴う仕事は減少してきた。また、週休2日制の採用、労働時間の短縮など、労働条件の改善も2～30年前と比較すれば隔世の感すらある。しかし、チャップリンが「モダンタイムス」で描いたような、仕事からの人間疎外、つまり職場に生きがいを見いだしにくい状況を迎えている。特にわが国の場合、企業の中に擬似家族制が浸透し、多くの男性は職場の中で精神的な安定を得ただけに、疎外のもたらすショックは大きいといわねばならない。

② 地域社会の崩壊。職場に生きがいを見いだせなくとも、地域社会が機能しているなら、父親たちは地域での活動に生きがいを託



すことができる。しかし、伝統的な地域社会は、都市化や工業化の渦にまきこまれて、はるか昔に消滅した。とはいえ、多くの地域では新しい市民意識に根ざした町作りが行われていない。したがって職場から退却してきた父親たちは、地域を越えて一気に家庭の中に生きがいを託そうとする。

家庭の束縛から脱出しようという母親と、家庭の中に生きがいを見つけようとする父親。進むべきベクトルは正反対だが、そうした両者の気持ちが交差し、たまたまバランスを保っているのが現代の両親像なのかもしれない。

③ 家庭内での役割を見いだしにくい。父親たちは、家庭の中に充足感を見いだそうとする。しかし、父親は家庭の中での生活に慣れていない。なにしろ、彼らが育った頃の父親は昔の世代に属する。したがって、横のものを縦にすることなく、威厳に満ちた存在であったろうから、現代の父親のモデルとはなりにくい。かといって、今の父親の多くは男の子としてのしつけを受けてきたから、たとえ暇な時でも、包丁を片手に台所に立つ気にも、気軽に洗濯物を干すわけにもいかない。その上、子どもと接する機会も少ないので、子どもの心情がいまひとつ理解しにくい。昔の父親のようにもなりたくないが、そうした反面、母親の役割もとりにたくない。その上、新しい父親像がいまひとつはっきりしない。結局、ほどほどにきびしく、ほどほどにやさしい、折衷の産物のような父親の姿が誕生することになる。

もちろん、問題をもう少しマクロにとらえ

るなら、父親の変貌を促進する要因は、その他にも多く考えられる。

④ 流動的な社会の到来。すでに引用したように、中根千枝子氏は、父親の見識が子どもに役立つ固定化された社会のほうが父親の権威が高まると指摘している。そうした意味でいえば、知識の陳腐化が進み、価値観の変動の大きな流動性社会の到来は、そのこと自体で父親の権威を保ちにくくしているともいえよう。

⑤ 豊かな社会の出現。貧しい社会のほうが金銭のありがたみがわかる。現在のように誰でもがある程度の収入を獲得できる社会は、家計維持者としての父親の権威を低下させよう。

⑥ 民主主義の浸透。民主主義とは成員の平等を基本として成り立っている。したがって現在のように、社会生活全般に民主主義の風潮が強まってくると、父親だけが特権を発揮することがむずかしくなる。

⑦ 情報化社会の進展。家庭の中にもテレビを通して世界の動きが飛び込んでくる。そうした情報社会は、社会と家庭とのかけ橋としての父親の役割を低下させた。

このように考えてくると、今後ますます父親と母親との役割が接近するモノ・セックス化の傾向は避けられないように思われてくる。

したがって、父親が変化してくるのは当然だとして、そうした変化がどのような性格を帯び、そして、その変化が子どもたちにどのような影響を及ぼすのかが重要になる。そうした考察はこの辺にとどめ、以下、子どもの目から見た父親像を紹介したい。

調査レポート 日本のお父さん 要約

東京学芸大学教授 深谷 和子
千葉県総合教育センター所員 中原 美恵
船橋市立薬円台小学校教諭 新井 誠
千葉市立都賀小学校教諭 広森 滋
文教大学女子短期大学部助教授 石川 洋子

1. 本調査は全国の小学校を50分の1抽出し「5年1組」を対象に行った全国調査の結果であり、92校2,998人を対象に行われた。
(表1)

2. 父親不在（離婚や単身赴任等）の家庭の子どもは8%にもものぼる（図6）。母親が働いている家庭は73%、母親のいない家庭も2%ある。（図9）

3. 父親の働く姿を1度も見たことのない子は19%にすぎない。（図11）



4. 父親と週1回しか食事しない子、もしくはほとんど一緒に食事をしたことのない子は、朝食で37%、夕食で21%もいる。（図15）

5. 父親の帰宅時間は「決まっていない」が34%もあり、残る者たちも9時以降が21%もいる。「5時に終業し、1時間以内に帰宅」という、本来なら当然あってよいはずの人間的な時刻に帰宅する父親は7%しかおらず、7時まで延長してみても22%にすぎない。(図16)

6. しかし、そうした短い在宅時間のわりには、父親は家族とよく話し、家庭サービスにつとめ、子どもと遊び、少しは家事手伝いもしている。むしろ「ごろんと横になっている」タイプの父親も見られる。(図17)



7. 父親が子どもとのコミュニケーションで一番言う言葉は「宿題をやったか」であり、友人等のことにはあまり関心を示さない。(図18)



8. 父親は一応子どもを叱るべきときには叱っているが、説教型が多く、強い叱り方はしていない。(図20)

9. 父親は娘より息子のほうに関心を示し、叱っている。(図19、表4)

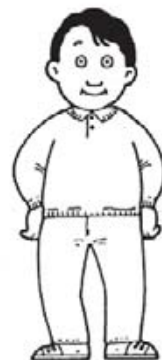
10. 父親の専用の品物などは少なく、ごはんを家族の中で先によそわれる父親も17%、帰りが遅いとき30分以上待ってもらえる父親も27%と、父親は形の上では家族から立てられていない。(図21～図26)

調査レポート／日本のお父さん

要約

11. しかし、家庭内で大きな決定を必要とする場面では、父親の考え方はかなり尊重されている。(図27)

12. 父親のイメージは、「体が丈夫で、仕事が大変、よく遊んでくれて、いばっていて、頼りになる」となかなかのビッグ・スターであり、母親の「うるさい、おしゃれ」と差がある。(図28)



13. 父親について社会的に「お金をもうける、人の上に立つ」とは思われていないが、家族にとって、「仕事をがんばっている、やさしい、物知り」と子どもは評価している。(図33)



14. しかし、それでも「父親のようになりたい(父親のような人と結婚したい)」とは思われていない。つまり、あまり子どもの目標とはなっていない父親の姿がある。(図35)

● 調査概要

1. 調査主題 日本のお父さん
2. 調査視点 父親の姿が変わってきていると言われる中、それは一部地域の姿であるのだろうか。現代父親像と子どもの成

長に果たしている父親の役割を全国調査により探ってみた。

3. 調査項目 父親の出勤・帰宅時間、自分のことをどのくらい知っているか、叱られる程度、父親のようになりたいか、父親の決定権について、など。

15. 目標とされている父親は、家庭的な父親であり、「ごろんと横になっていて、暇さえあればテレビを見ている父親」は、子どもの目標（将来父親のような人になりたい）とはなっていない。（図36）

16. 父親像と地域（職業）特性との関連は、今回の調査では明確でなかった。（表5）

17. 父親の中から「世話をする父親」を抽出してみると、このタイプは、重要な場面で「決定」もし、家族から「立てられて」もあり、「子どもをきちんと叱って」もいる。子どもに「自慢できる父親」とも評価されている（図38、図39、表6、図40）。また、父親イメージもよい。（表7）



18. このように「世話もし、決定もする」父親を、われわれは「マルチ・ロール型の父親」と名づけた。マルチ・ロール型の父親こそが、これからの父親像として、父親の目標とされるべきではなからうか。

4. 調査時期 1991年6月～7月

5. 調査対象 全国92校に通う小学5年生

6. 調査方法 学校通しによる質問紙調査

7. サンプル数

(人)

学年/性	男子	女子	計
5年	1,520	1,478	2,998



はじめに

家族の姿が変わってきたと言われる。結婚しない男女が増加し、また結婚しても子どもをつくらない夫婦、また少子化の傾向も顕著である。例えば国民生活基礎調査（厚生省）によれば、全世帯の中で子どものいない世帯の割合は、昭和42年では40.3%であったのが、平成2年には61.3%に増加し、この20年間で、子どものいる世帯といない世帯の割合は6対4から4対6に逆転したことになる。

しかし、こういうデータもある。同じ調査から子どものいる世帯についてだけ統計をとると、その平均子ども数は昭和48年には1.78人であったが、10年後の58年には1.84人（ピーク）、そして平成2年では1.81人という数値を示し、僅少な増加傾向、減少傾向はあるものの、全体としては1.8人前後のままに止まっている。つまり子どものいない世帯は増加しているが、子どもを生むことを選択した人びとの大方は、常に2人弱の子どもをつくっていることになる。この傾向は、今後もほぼ変わらないであろう。

しかし、わずか2人の子どもの親にせよ、いったん親となった人びとは、子どもが自立（結婚）して別の世帯を構えるようになった後でも、何らかの形で親を続けなければなら

ない。そうしたことを考えると、少なからぬ人びとにとって、人生のかなりの部分は今なお親としての人生ということになる。

その親のあり方が、次第に変わってきている。とくに生物学的な親の役割が求められる母親に比べ、父親の立場はそれ自体「社会的発明である」と定義する研究者もいる。とすれば、母親以上に父親の場合、子どもとのかかわりや、家族の中での立場や行動の仕方が変わってきても不自然ではない。

小学生ナウでは、これまで何回か父親をテーマにした号を刊行してきている。しかし、それらは限られた地域、すなわち首都圏を中心とした地域のデータに基づいたものであった。父親の姿が変わってきているとしても、それは限られた地域の姿であって、日本をあまねく探せば、まだ昔の家父長型のイメージそのままに、古典的な父親の姿も見いだせるかもしれない。

そこで、今回は少し変わった形の全国調査を試みた。いわば現代日本の父親像を探り、また子どもの成長に果たしている役割の内容を探ってみようとした。これがこのレポートの目的である。

1. 全国調査の概要



■ 方法 IIII

全国調査の方法は、全国約2万5千の小学校の50分の1にあたる500校を各県がほぼ均等になるように無作為に抽出し、調査票サンプルを送り、調査協力を依頼した。対象は各校の小学5年1組とした。これは学級が恣意で選ばれることを防ぐとともに、1学年1クラスの小規模校でも必ず「1組」は存在する

ことを考えての指定であった。

その結果、表1にあるように全国92校の調査協力を得て調査の実施に至った。調査サンプルは、5年生男子1,520人、女子1,478人の計2,998人、調査実施時期は1991年6月から7月であり、全て学校通しによる質問紙調査であった。

表1 各地方ごとの調査サンプル

地方	県	調査校数	地方	県	調査校数	
北海道	北海道	3校	近畿	滋賀	0校	
東	青森	2校		京都	0校	
	岩手	3校		大阪	1校	
	宮城	4校		兵庫	1校	
	秋田	6校		奈良	3校	
	山形	1校		和歌山	2校	
北	福島	5校		中	鳥取	4校
関	茨城	3校			島根	4校
	栃木	1校			岡山	1校
	群馬	4校			広島	1校
	埼玉	3校	山口	3校		
	千葉	2校	四	徳島	0校	
東京	1校	香川		0校		
神奈川	1校	愛媛		1校		
中	新潟	3校	国	高知	0校	
	富山	3校		九	福岡	0校
	石川	1校	佐賀		1校	
	福井	4校	長崎		2校	
	山梨	4校	熊本		1校	
	長野	2校	大分		1校	
	岐阜	1校	宮崎		2校	
	静岡	3校	鹿児島		1校	
	愛知	3校	沖縄	0校		
近畿	三重	0校	合	計	92校	

*調査対象は、各都道府県ごとにほぼ50分の1の小学校を無作為に抽出し、調査票サンプルを送り、調査協力を依頼。

■ サンプル校について IIII

子ども調査とともに、それぞれの学校の教頭または教務主任に、学区の様子や保護者についての基礎資料を得た。(巻末に収録)

まず表2は学区の地域特性である。学区の特徴をみるために、表に掲げた8種類の地域分類を掲げ、「貴校の学区に一番あてはまると思われる分類」を1つ選択してもらった。古くからの住宅地が30%と一番多く、以下、新興住宅地21%、農業地域20%、商業地域15%と続いている。

人口の移動からみた地域特性は図1が示すように、約5割が古くからの住民が多い地域である。一方、新住民が多い地域も2割ほどある。

このような学区に住む子どもたちの通学に要する時間はどのくらいか。この点についてたずねたのが、図2、表3である。8割近く

が20分以内の所に住んでいる。しかし、1時間以上かけて学校に来る子どもも1割強に達している。

さらに、学区周辺の様子をみた図3によると、学区周辺には、公園や空き地など子どもが遊ぶ環境よりも、おけいごとや塾が多いことがわかる。おけいごとや塾が多いことからもうかがえるが、保護者の教育への関心は「非常に高い」が17%、「わりと高い」が48%で、教育への関心が高いと答えた学校が約3分の2近くある(図4)。

最後に、保護者の学歴についてたずねたのが、図5である。大学卒業の保護者の多い地域は、「わりと多い」も含めると、3割近いことがわかる。(保護者の学歴をストレートに聞きにくいいため、こうした表現を用いた事情がある)

表2 学区の様子

	ほとんどの地域がそう	そういう地域も含まれる	ほとんどない	(%) 1つ代表させるならば
1. 古くからの住宅地	22.2	70.4	7.4	30.2
2. 新興住宅地	7.4	71.6	21.0	20.9
3. 農業地域	18.3	43.9	37.8	19.8
4. 商業地域	2.5	75.0	22.5	15.1
5. 工業地域	0.0	25.0	75.0	5.8
6. 団地	2.6	65.3	32.1	3.5
7. 漁業地域	0.0	10.5	89.5	3.5
8. オフィス街	1.4	33.8	64.8	1.2

図1 学区内の人口移動の様子

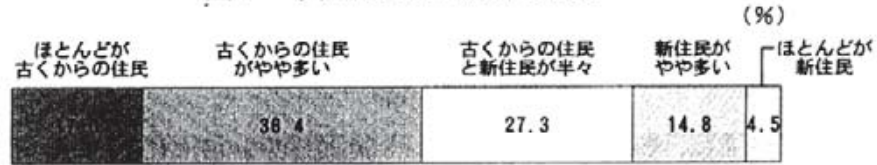


図2 平均的な通学時間

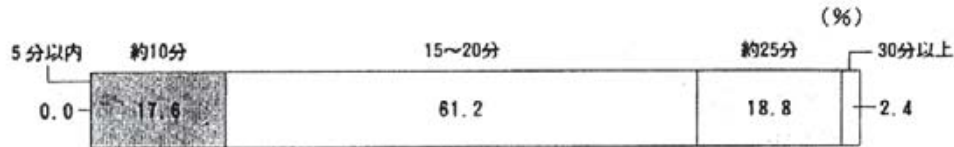


表3 学区内で一番遠い子の通学時間

通学時間	割合 (%)
15分	2.4
20分	8.3
25分	7.1
30分	29.9
35分	8.3
40分	20.2
45分	7.1
50分	3.6
1時間	10.7
それ以上	2.4

図3 学区周辺の様子

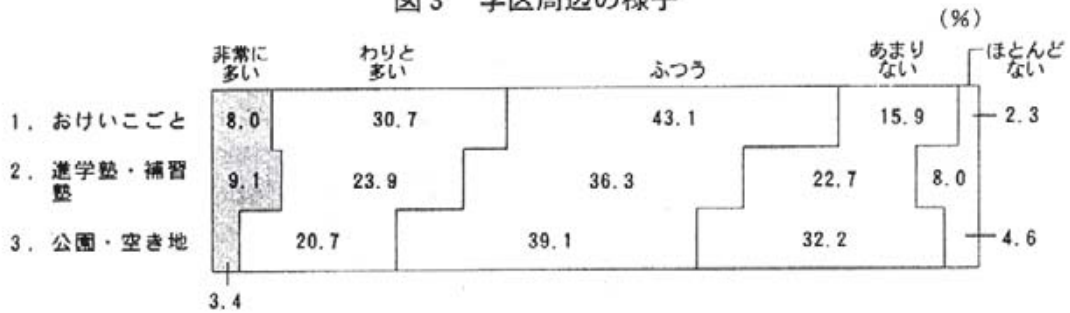


図4 保護者の教育への関心

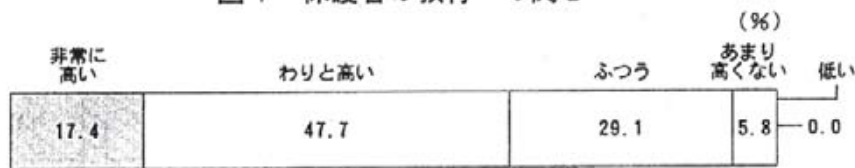
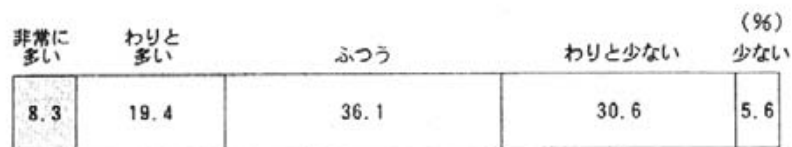


図5 保護者の学歴 (大卒の割合)



2. 子どもの目がとらえたお父さん



■ 父親の生活実態 IIII

まず、おおまかに日本の父親の生活をとらえてみよう。図6は父親の有無で、父親のいない子は4%、仕事で遠方にいる父親も4%と全体の8%が父親と離れて生活している。

仕事は図7が示すとおり、「サラリーマン形態」、すなわち会社にせよ、工場やお店にせよ、勤めている割合が全体の約6割となっている。年齢は、30代後半から40代前半が85%と大部分である(図8)。

他方、母親が仕事をしている割合をみた図9によると、何らかの仕事をしている者は78%ときわめて高率である。その中でフルタイムで働いている者は、自営業を含めると6割に達している。典型的な家族形態を、父親は外で働き母親は家で家事や子育てにあたるというイメージでとらえることのできない時代

になってきていると言えよう。こうした「共働き」が一般化する傾向は、今後一層進むのではなかろうか。

また父親に戻れば図10が示すとおり、父親の仕事の場所は家のすぐそばが22%、30分くらいかかるが51%、1時間くらいが14%、1時間半かそれ以上が13%と分散している。また父親のいない家庭での子どもの成長が増加し、加えて父親と同居していても父親の働く姿を見たことのない子がふえてきていて、それが父親イメージの形成に影響していると言われる。その点をみようとしたのが図11である。図が示すように、父親の働く姿を今までに1度も見たことのない子どもは19%と意外に少なく、1度かそれ以上父親の職場に行ったことがある子が8割を占める。ただし、

「お父さんが仕事をしているのをよく見る」子は、17%にすぎない。

図12は、父親が仕事に出かける時刻である。図を見ると、父親によって大きな開きが見られる。6時台すなわち子どもの登校時刻より早い父親が1割、子どもとほぼ同じ頃に出かけると思われる7時台が3割、子どもと同じかより遅い8時台も3割となっており、9時以降に出勤する父親も1割ほどいる。小学生ナウの別号では働く母親の多くが子どもの登校後に家を出る形の仕事を選擇している(vol.

7→5「働くお母さん(2)」によれば、首都圏のデータだが、夜間も含め朝8時以降の出勤は全体の8割を超えている)。それだけ父親は母親にくらべ、子育てに制約されない職業選擇をしていることがわかる。

図13は子どもが目覚めたときの父親の姿である。すでに仕事に出かけて父親のいない家が12%、「まだ寝ている」父親も39%と、ここでも多様な父親の姿が見られる。

次に父親の家庭内地位とそれを象徴する「おはよう」のあいさつの実行率を見てみよう

図6 お父さんの有無

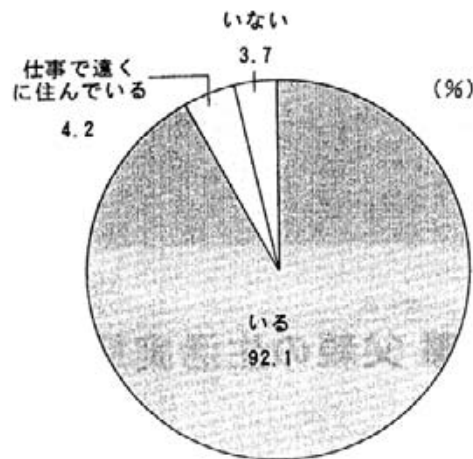
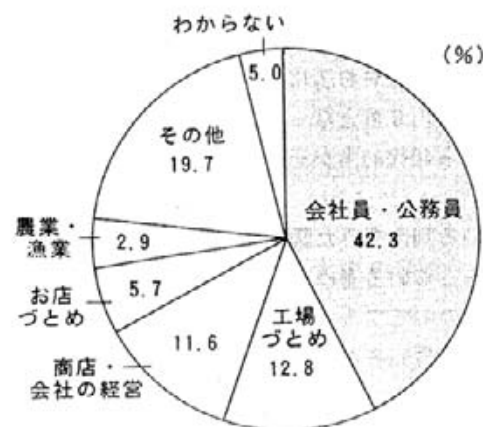


図7 お父さんの仕事



う。図14によれば「言ったり言わなかったり・あまり（ぜんぜん）言わない」を含めると、5割近くになっている。

次に父親と一緒に食卓の有無をみたのが図15である。「毎日一緒」は朝食、夕食ともほぼ3割と少なく、逆に「ほとんど一緒に食べない、または週に1回くらい一緒」を合わせた父親不在の食卓が恒常化している家が朝食37%、夕食21%もいる。

なお、帰宅時間をみたのが図16である。「9時5時」という言葉があるが、5時には

ぼ仕事を止めれば6時には大方の父親は家に戻れるだろう。しかし6時前に帰っている父親はわずか7%、7時まで延長しても約2割でしかない。外国から「働きすぎ」が指摘されるのも当然であろう。父親の姿の少ない家庭での子どもの成長が現代の一般的なスタイルであることが、この図からもわかる。

図8 お父さんの年齢



図9 お母さんの仕事

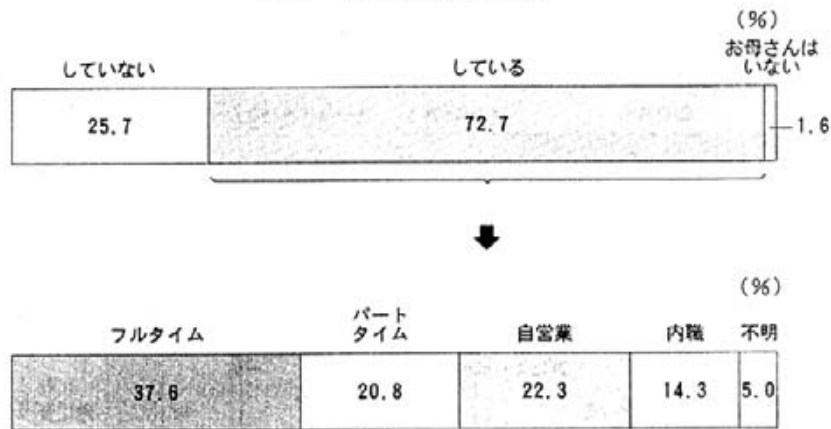


図10 お父さんの仕事の場所

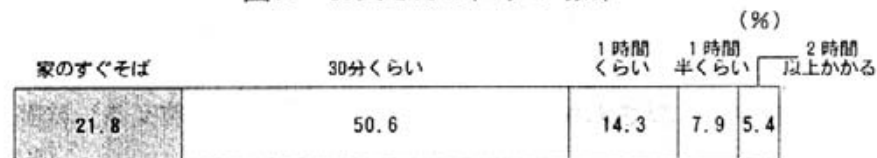


図11 お父さんの仕事を見たこと

(%)

お父さんが仕事をして いるのをよく見る	お父さんの仕事を 何度か見たことがある	1度くらい、その場所に 行ったことがある	今まで1度もない
18.5	36.4	28.3	18.8

図12 お父さんが仕事に出かける時間

(%)

午前 6時前	6時台	7時台	8時台	9時台	10時 以降	決まってい ない	家で仕事を する
3.4	6.0	28.1	31.9	7.0	3.2	15.2	5.2

図13 朝起きたときお父さんがしていること

(%)

仕事に 行っている	朝のしたく をしている	ごはんを 食べている	まだ寝ている	その他
11.6	14.1	16.9	39.4	18.0

図14 お父さんに「おはよう」と言うか

(%)

毎日言う	わりと言う	言ったり言わなかったり	あまり言わない	ぜんぜん言わない
33.6	18.2	25.1	13.6	9.5

図15 お父さんと一緒に食事をするか

(%)

	毎日一緒に食べる	週に4~5回一緒	週に2~3回 一緒	週に1回くらい 一緒	ほとんど一緒に食べない
朝食	31.2	16.7	15.5	12.7	23.9
夕食	32.7	26.3	20.4	9.7	10.9

図16 お父さんが仕事から帰ってくる(仕事を終える)時間

(%)

午後 6時前	6時台	7時台	8時台	9時台	10時台	11時以降	決まってい ない
6.7	14.8	13.7	10.0	7.6	6.3	7.2	33.7

■ 父親は家で何をしているか III

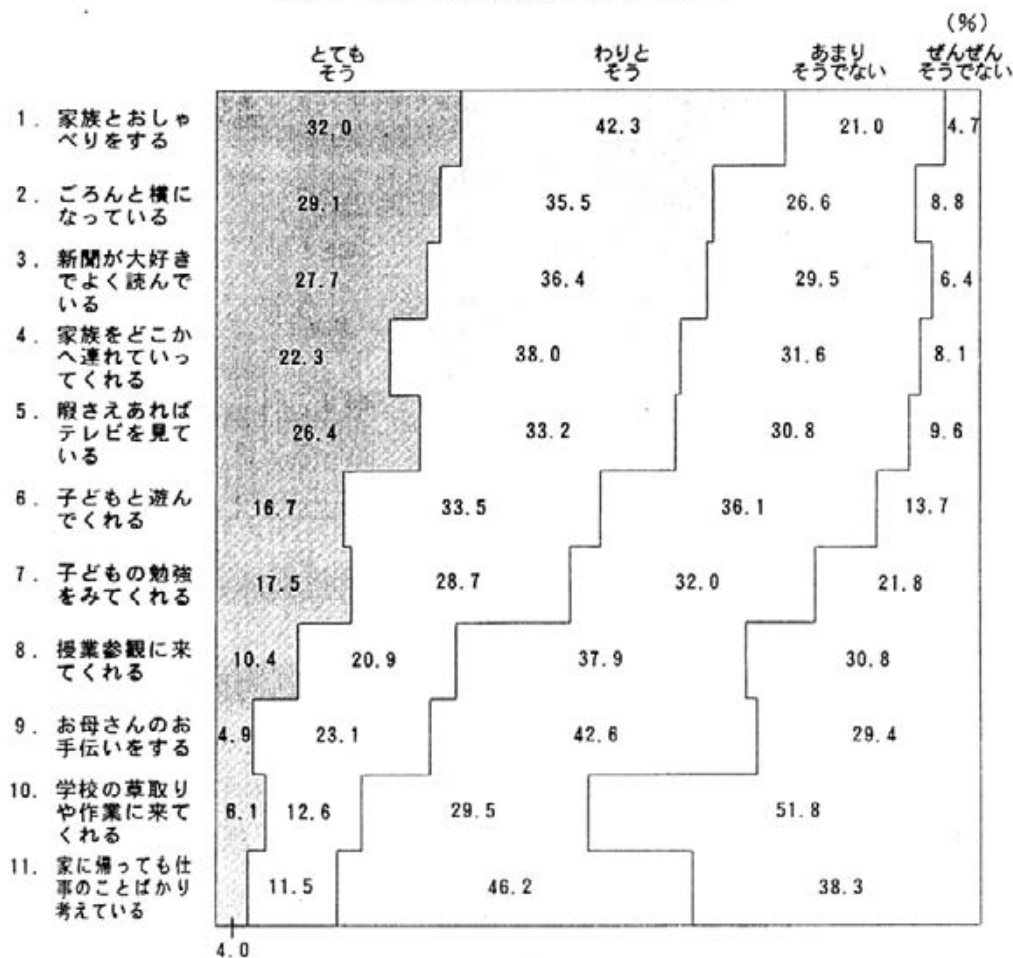
こうした短い在宅時間を、父親はどう過ごしているか、子どもの目から見てみよう。図17が示すのは、くつろぎ、家族とだんらんし、けっこう家族の世話（子どもの相手や母親への協力を含む）もしようとしている、いわば「家庭的な父親」の姿である。「家に帰っても仕事のことばかり考えている」父親は2割弱で、全項目の中でも最下位となっている。家事協力までは手が回らない（3割弱）ものの、「子どもと遊び（50%）、勉強をみてくれ（46

%）、家族をどこかに連れていってくれる（60%）」父親の姿が少なからぬ頻度で見いだされる。

さて、父親がしている子どもの世話をより詳細にみようとしたのが図18である。

図はそこに示した5項目について「お父さんはどのくらい（気にして）聞きますか」とたずねた結果である。父親の一番の関心事は何といっても「宿題をやったか」である点が悲しい結果である。最下位は「友だちのこ

図17 お父さんが家でしていること



と」である点を合わせると、親子関係の中に「学力」の問題が大きく加わってきている様子が見てとれる。しかし全体としては、半数くらいの父親が仕事だけでなく、子どもの成長に関心を示し、自らも役割を果たそうとしている傾向が見いだされる。

図19はこの点の性差をみたものだが、やはり女子より男子についてのかかわりが深くなっている。娘より息子のほうに期待が大きいのであろうか。

こうした父親の姿を仮に「世話焼き型」と名づけてみると、このタイプの父親の出現率の増加は、よく言われる「友だち型」の父親像、すなわち上下関係ではなく左右の関係し

か結べない父親の「友だち化」を示すものかどうか。図20を見てみよう。

上位の「人の物をとったとき」などの項目については、父親がけっこう子どもを強く叱っている姿が見いだされる。しかし、人の物をとったときですら「どなったり、ぶったり」のように、強い叱り方をする父親は3割、大方は「説教」で45%、あまりきつくは叱らない父親も4分の1に達する点を見ると、たしかに全体としては父親像がソフトになったという傾向はある。

また性差をみた表4によると、やはり男子のほうに父親は強い叱り方をしている様子がわかる。

図18 お父さんがあなたを気にしてくれるか

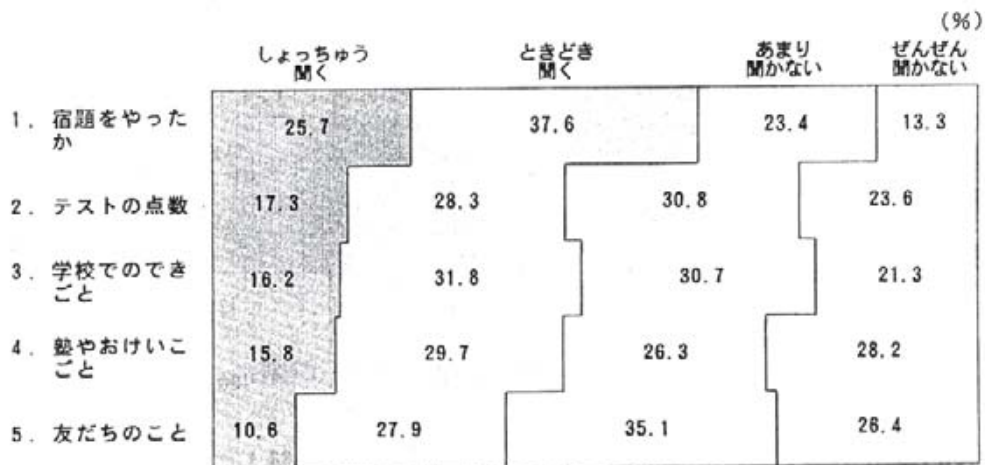


図19 お父さんがあなたを気にしてくれるか × 性差

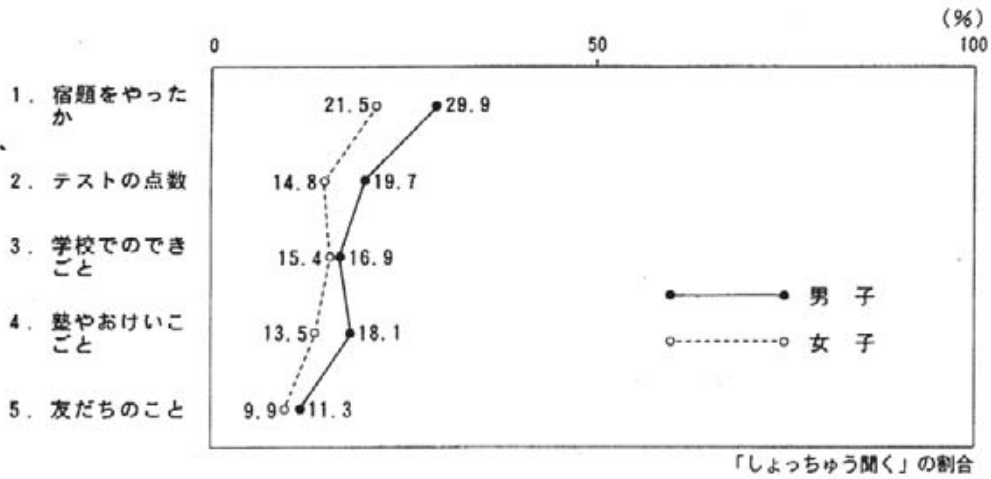


図20 お父さんの吐り方

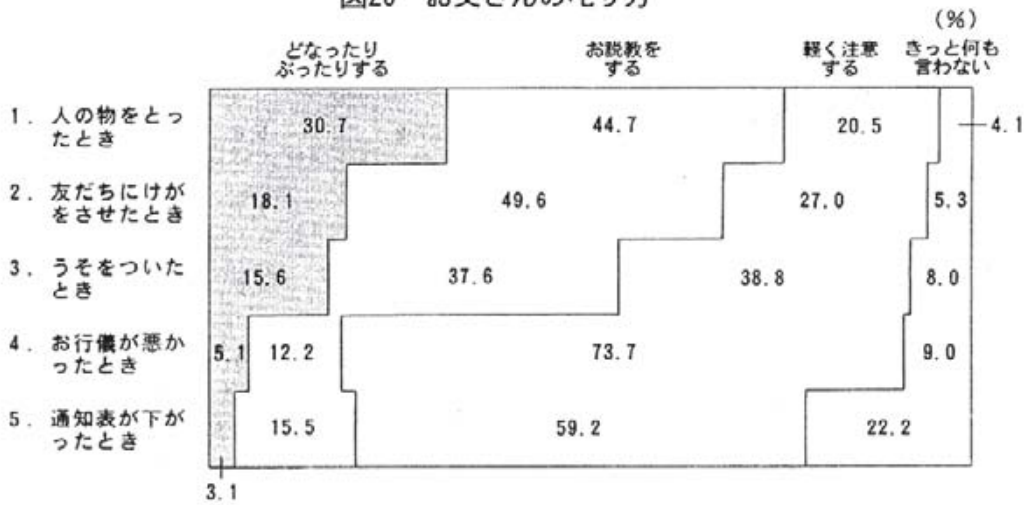


表4 お父さんの叱り方 × 性差

(%)

	どなったりぶったりする		お説教をする	
	男子	女子	男子	女子
1. 人の物をとったとき	35.6	> 25.5	41.6	< 48.1
2. 友だちにけがをさせたとき	20.7	> 15.3	47.0	< 52.5
3. うそをついたとき	21.1	> 10.1	37.9	37.3
4. お行儀が悪かったとき	6.5	3.8	12.1	12.4
5. 通知表が下がったとき	4.0	2.1	18.8	12.2

	軽く注意する		きっと何も言わない	
	男子	女子	男子	女子
1. 人の物をとったとき	18.3	< 22.8	4.5	3.6
2. 友だちにけがをさせたとき	26.7	27.2	5.6	5.0
3. うそをついたとき	33.3	< 44.3	7.7	8.3
4. お行儀が悪かったとき	70.6	< 76.6	10.8	7.2
5. 通知表が下がったとき	56.3	< 62.3	20.9	23.4

■「立てられなくなった」お父さん IIII

父親の権威の喪失が指摘されるようになって久しいが、それでも父親はそれぞれの家庭の中で、それなりの尊敬の対象として大事にされ、一目おかれているという指摘もされている。ここではその点を優先権の有無という形で見てみることにした。昔の父親はほとんどが優先権を与えられた存在であった。入浴、ごはんをよそう順番、トト座に象徴されるようないい座り場所、上等なおかずその他、昔の父親は家族の者からいわば「立てられ」一目おかれて「最恵国待遇」を受けていた。それが今、どうなっているか。ひょっとしたら過去の高い家庭内地位は失っても、形だけはその待遇が残っているかもしれない。それとも形も失ってしまったのか。

こうした観点から、父親の「優先権」の残存状態をみたのが、以下の資料である。

まず父親が自分専用のものでどれくらい持っているか。図21によれば、父親専用のものは、「イスかザブトン」がせいぜいで45%、父親用の部屋が32%、机30%、テレビは17%という結果である。

次に、父親を中心として、食卓の様子を見てみると図22に示したように、食事のときに父親の席が「決まっている」のは、68%にすぎない。「決まっていない」家も10%に達する。さらに図23によれば、「いつも父親からごはんをよそう」家は17%しかない。何番目にごはんを盛りつけられようが、実際にはほとんど意味のないことではある。しかし、だからこそ、これは「敬意」を形で示す行為ととれる。老人問題では、家族の中で祖父母がいつごはんをよそわれるか、祖父母の側で

敏感に反応するというデータもある。

これに関連して図24は、食事のときの父親のおかずの量をみたものだ。品数も量も含めて昔の家では、父親は家族より余分におかずを与えられていたと聞く。図が示すように、現在でもなお「いつも家族より多い」が23%、「多いときもある」を含めると7割を超える。しかし、これが「敬意」からの措置なのか、それとも晩酌との関連かは定かでない。

また、父親が食卓に欠かすことのできない人ととらえられているか、父親の帰宅を待って食事をする家がどのくらいあるかたずねたのが図25である。図によると、父親の帰宅時間が遅れたとき、「全く待たずに食べ始める」家が最も多く55%、「1時間以上待つ」家は1割ときわめて低い。

では、入浴の順番はどうか。図26によれば、「いつも・たいてい父親から入る」家は、2割にすぎない。

最後に「決定権」という側面から、父親のリーダー性をみようとしたのが、図27である。

図が示すように「旅行の行き先」「テレビ(高額なもの)の購入」という場面をとると、父親の決定権は今なお、かなり十分に保存され、こうした場面でのリーダー性はゆるぎのないものようである。

しかし塾の項目や休日のおかずの項目で見られるように、より小さな選択に関してはほとんど父親の考えを聞かない家も、かなりの割合を占める。昔、父親がもっていた強いリーダー性は、やはり大幅に低下してきていると言えそうである。

図21 お父さん専用のもの

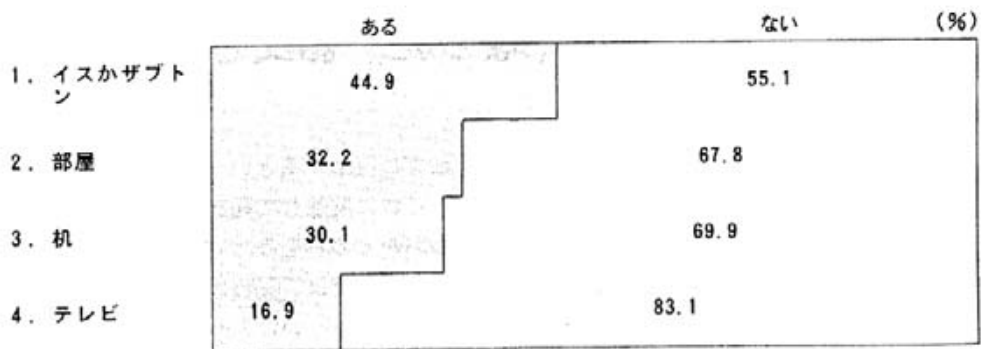


図22 食事のときのお父さんの席

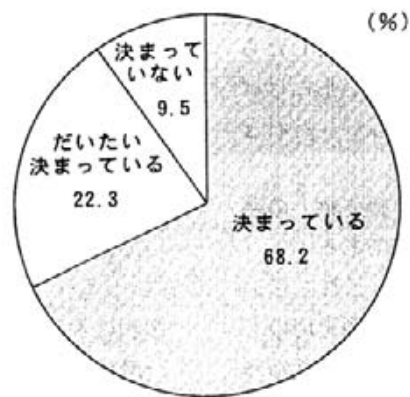


図23 ごはんをよそう順番



図24 食事のときのお父さんのおかず

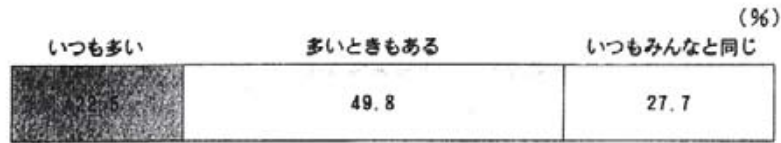


図25 夕食のときお父さんを待つか

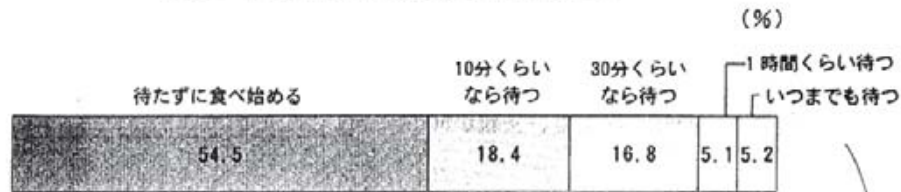


図26 お風呂に入る順番

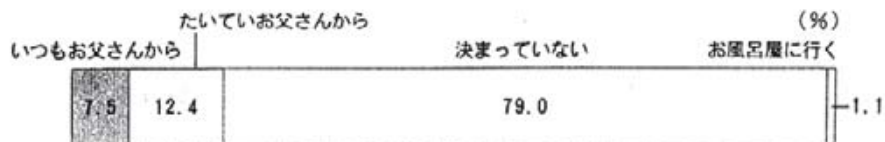
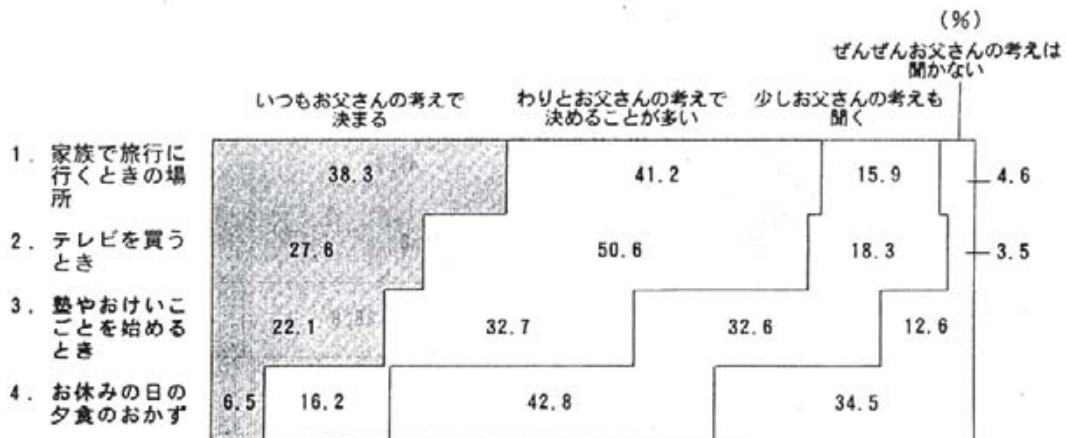


図27 お父さんの決定権



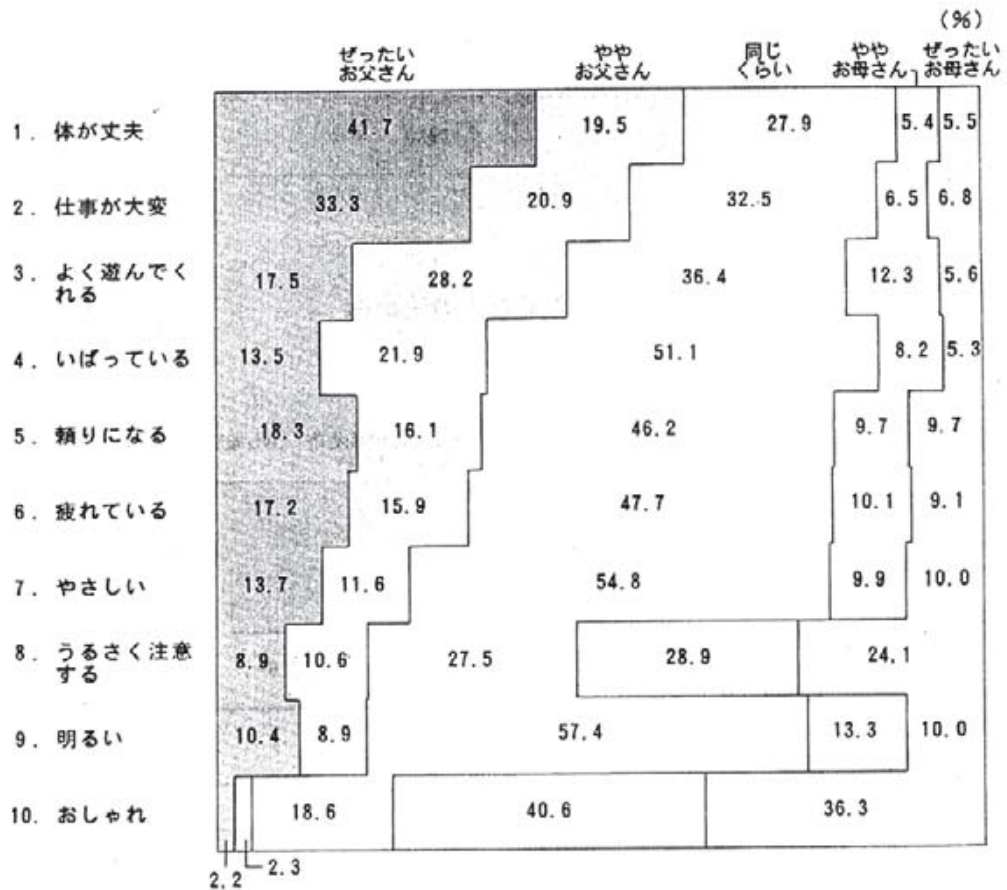
■ 両性具有型の父親イメージ III

こうした父親のリーダー性の低下の中で、子どもたちは父親に対するイメージをどう変化させているのだろうか。母親と比較させながら10項目を用いてとらえようとしたのが、図28である。

「同じくらい」を2分し「ぜったい・ややお父さん」に加え合わせた数値で、父親が50%を超えるのは、

1. 体が丈夫	75.2%
2. 仕事が大変	70.5%
3. よく遊んでくれる	63.9%
4. いばっている	61.0%
5. 頼りになる	57.5%
6. 疲れている	57.0%
7. やさしい	52.7%

図28 お父さんとお母さんのイメージ



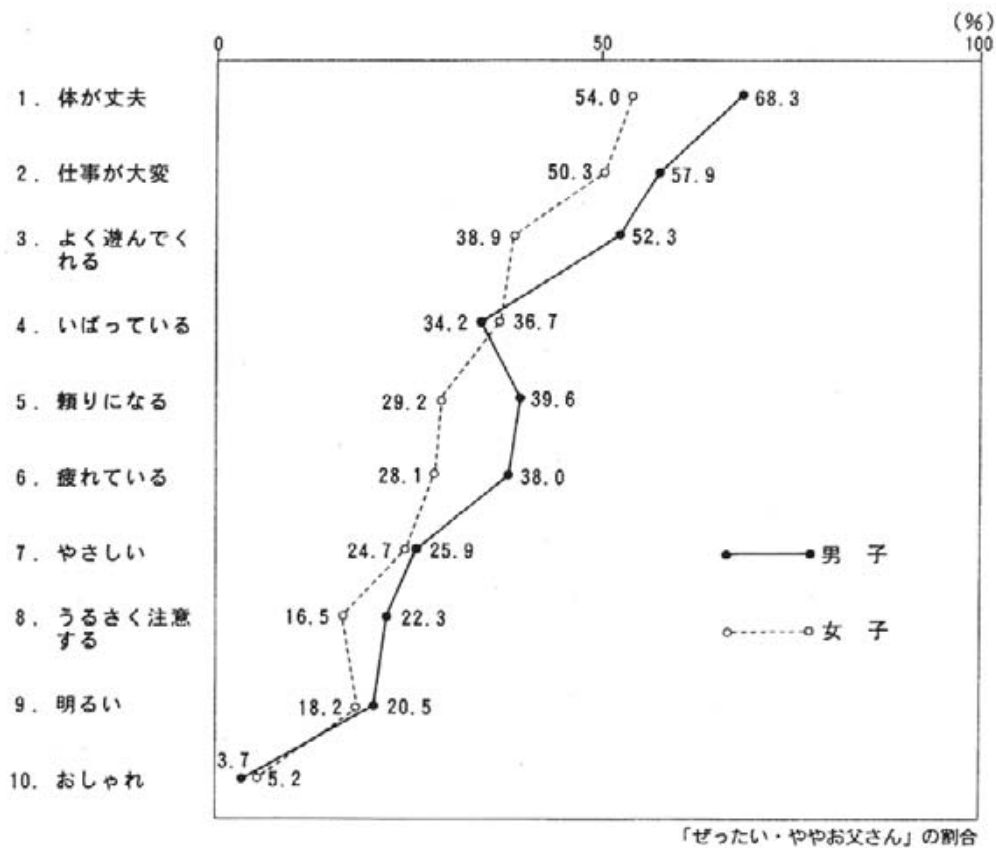
の7項目であり、逆に母親のほうの特徴として挙げられているのは「うるさく注意する」「おしゃれ」である。「明るい」は父母がほぼ同じ数値となっている。

母親が強くなったとよく言われるが、それは多分に男性の言い分、もしくは昔の母親像との比較から出てきているのであって、子どもの中の父親像は、昔ながらに「強くて大き

い」父親であり、それに加えて、昔より「遊んでくれる、やさしい」が加わった、いわば両性具有型の父親像が現代型の父親像として子どもの中にあるように思われる。

また、父親のイメージについての性差をみたものが図29であるが、図を見ると、ほとんどの項目で男子のほうが父親イメージを鮮明に、または拡大してもっていることがわかる。

図29 お父さんのイメージ × 性差



■ 父親についての知識 III

では子どもは父親の何をどのくらい知っている、こうした父親イメージを抱いているのだろうか。父親についての知識をたずねた結果が図30である。

「だいたい」を含めると「仕事」と「誕生日」はよく知っているが、「好きな食べ物」「友人」「子どもの頃のこと」については割合はかなり低下し、「知らない」とする子がふえていく。とくに「好きな食べ物」を知っていると答えた子が少ないのは、父親不在の食卓を示すものなのか、それとも父親は食卓で出されたものを文句を言わず食べているのだ

ろうか。なお図31によると、性差は（誕生日を除いて）ほとんど見られない。

逆に図32は、父親が自分についてどのくらい知っていると思うか、である。「とてもよく」と「だいたい」を合わせると、何年何組かは9割、友人や担任の先生の名前も6割強の子が「知っている」と答えている。しかし「あまり（ぜんぜん）知らないだろう」と答える子も3割を超す。父親によっては、子どもの日常にほとんど無関心な者も、ある割合でいることがわかる。

図30 お父さんのことを知っているか

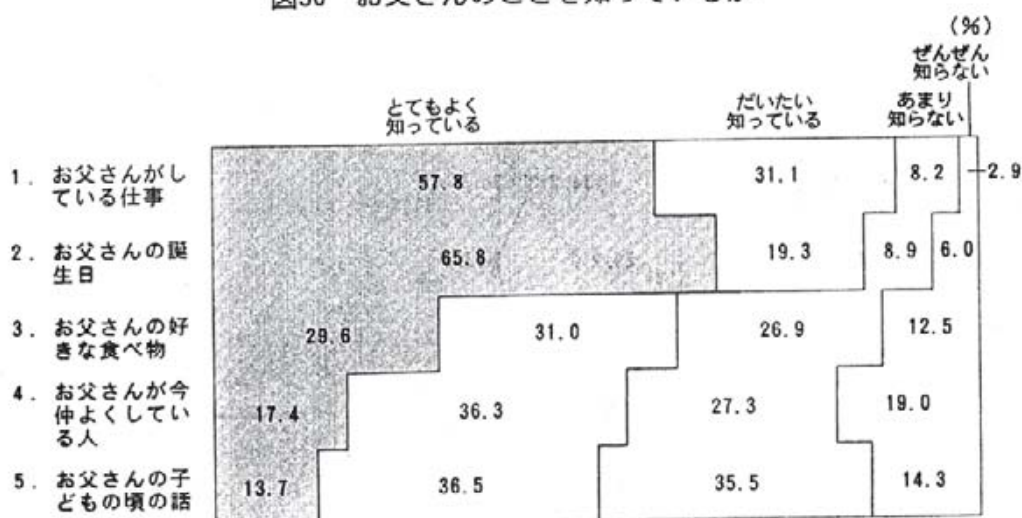


図31 お父さんのことを知っているか × 性差

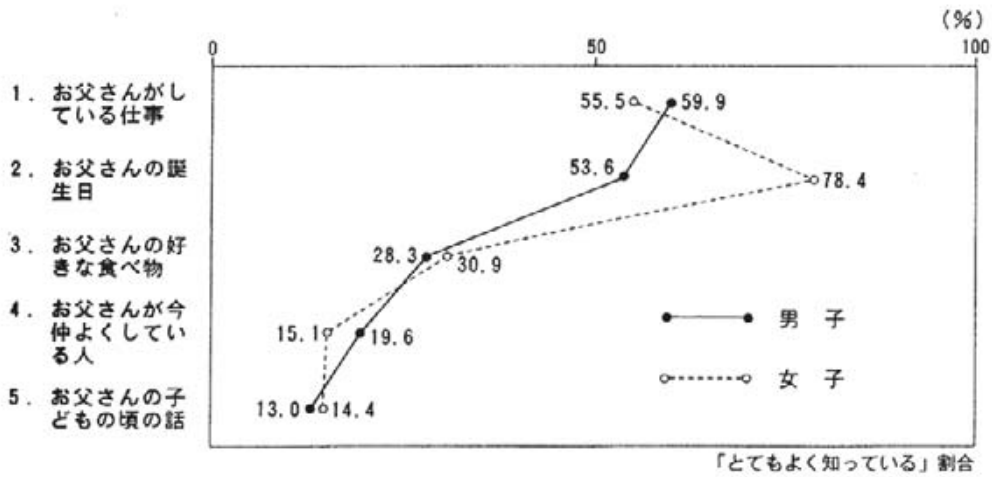
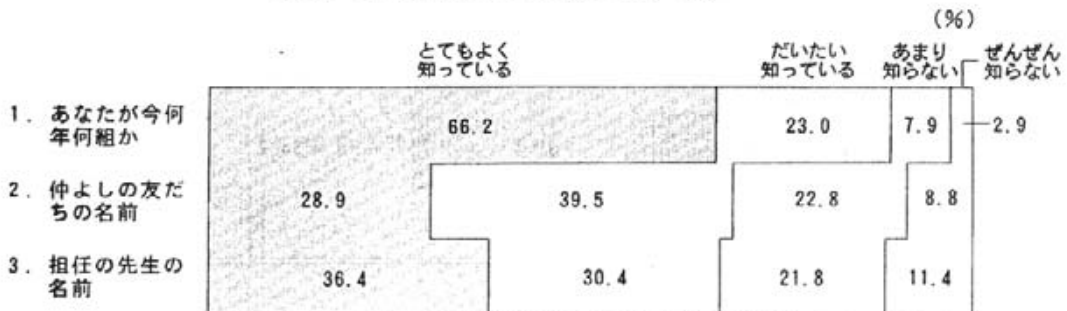


図32 あなたのことを知っているか

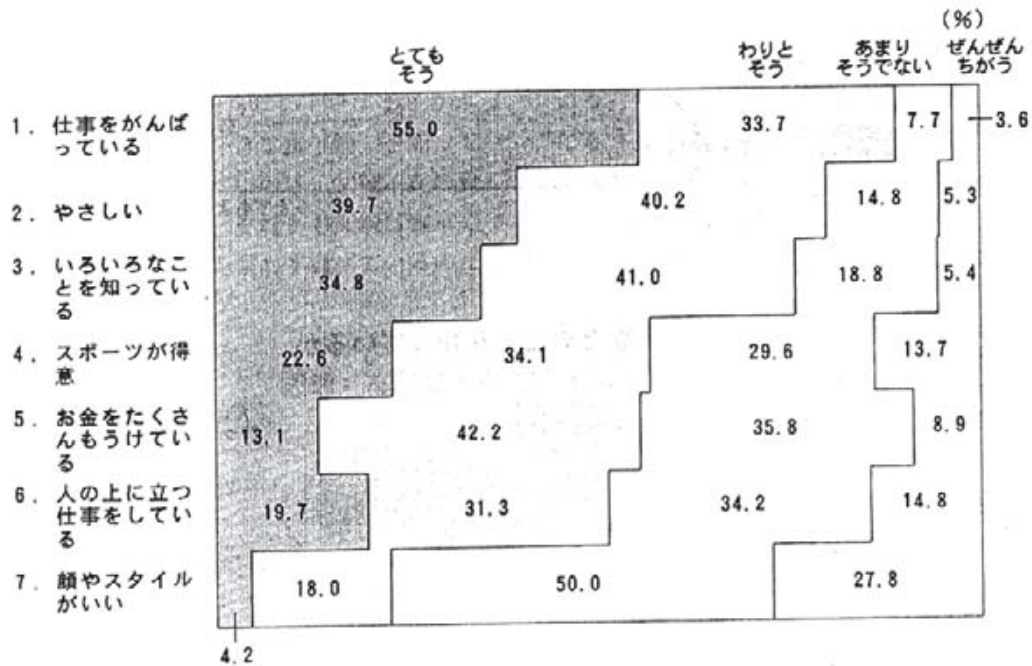


■ 自慢できるお父さん III

図33は父親の何を自慢できるか、子どもにたずねた結果である。最後の「顔やスタイル

がいい」を除く全ての項目を、5割から9割の子どもが「わりと」を含めて自慢できる

図33 お父さんについて自慢できること

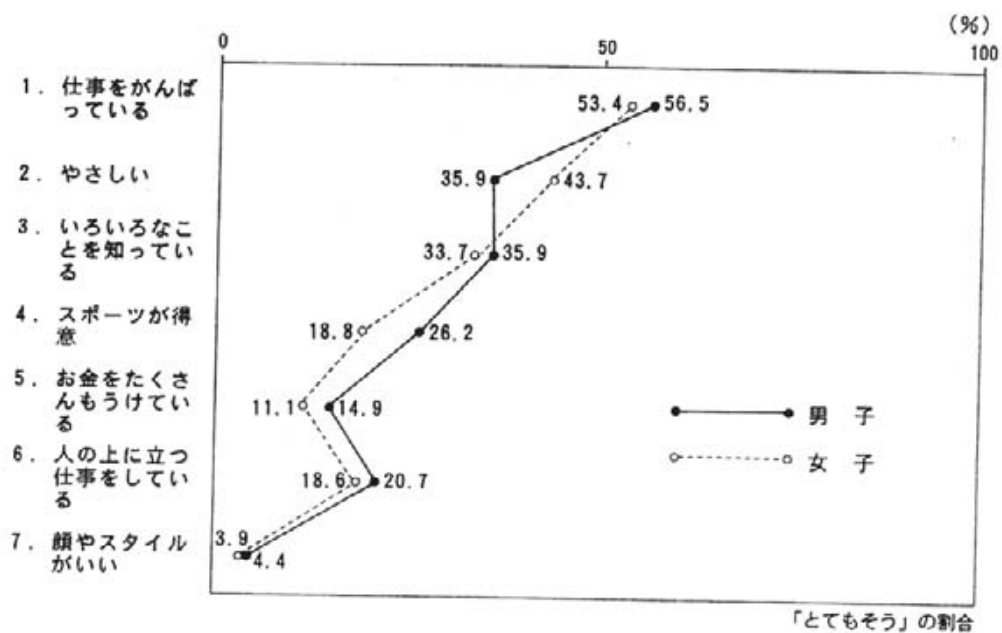


と答えている。子どもにとっての父親は、他人が見るよりはるかにビッグ・スターなのであろう。しかも「お金をたくさんもうける」「人の上に立つ」父親、つまり社会的なビッグ・スターではないものの、自分や自分の家族にとって父親は「仕事をがんばり、やさしくて、物知り」として評価している。子ども

にとっての父親は、いわば社会的価値の持ち主でなく、絶対的な価値をもった存在なのであろう。

なお図34によれば、性差は少ないものの、やはり男子のほうの評価がやや高くなっている。先に図29で見た、父親へのよいイメージとも重なる結果である。

図34 お父さんについて自慢できること × 性差



■ それでも自分の目標にはなりえない III

こうした父親を敬愛し評価している子どもたちの中で、父親は彼らの「目標」としての役割を果たしているのだろうか。

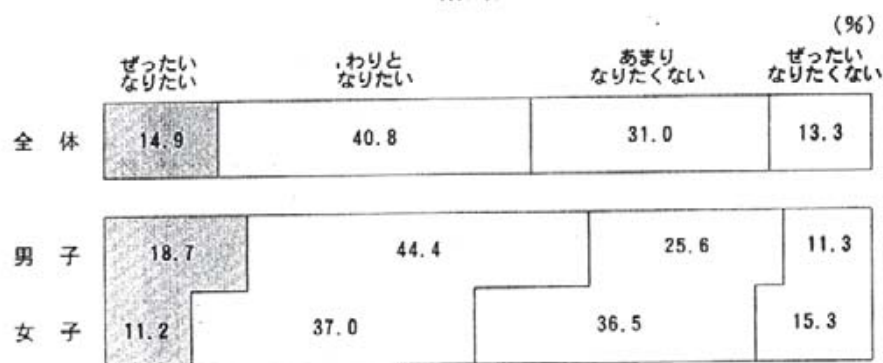
図35は、将来父親のような人になりたいか（女子は父親のような人と結婚したいか）をたずねた結果である。

図が示すように、男子と女子では男子のほうがなりたい（結婚したい）子の割合が高い

（63%と48%）傾向が見られるものの、全体としての数値は思ったほど高くはない。

これまで、あれほど好意的に評価をしたにもかかわらず、将来自分は同じ生活をしようとは思わない。すなわち、「目標」になりえない父親については、あとでさらに考察を加えていきたいと思う。

図35 お父さんのような人になりたいか（男子）
（結婚したいか）（女子）



3. 新しい父親像を追って



8年前、小学生ナウ（vol. 4-3）で、初めて子どもの中の父親像がテーマとして取り上げられた。そこではかつての家父長型の父親像から、やさしい「友だちのような」父親が一般化している点が指摘されている。データから浮かび上がった父親像は、首都圏のホワイト・カラー層の父親の姿として、かなり説得力のあるものだった。しかし、調査対象が首都圏の子どもたちに限られていたため、

地域を変えれば、まだ日本のどこかに、いわば古典的な父親像が残っているのではないかと、ホワイト・カラーでない父親たちは、ひと味ちがった姿をしているのではないかと、という思いが残った。

本章では、まず、子どもの目に映る父親像の地域差を検討し、さらに今日的な父親像にも接近してみたいと考える。

■ 校区の特性とのクロス集計から IIII

今回の全国調査の手続きについては、第1章に詳しいが、地域の特性をとらえる指標として前掲の表2「学区の様子」の項目を用いて、父親の姿とのクロス集計を行った。表5は子どもたちが見た家庭での父親の暮らしぶりについて12の項目を取り出し、校区の特性

によって父親の姿に違いがみられるかを比較したものである。全体に思ったほど差はみられない。中では、表の右端、漁業地域を中心とする校区の父親たち（全サンプル中の3.5%）が、総じて肯定率がやや高いようである。住宅地の父親たちにくらべ、朝早くから仕事

に出かけ、9「テレビを買うときは、いつもお父さんの考えで決まる」49%と決定権も持っている。しかし、昔風の漁師町の父親イメージとも違い、11、12の項目を見ると、家族ともまめに接触している様子がうかがえる。

小学5年生を対象とした調査のため、厳密な形で、地域差や父親の属性による差を検討することは難しいが、校区の特性と他のク

ロス集計結果を重ねても、それほど個性的な父親像は見いだされない。ましてや、昔風のいわゆる家父長型の父親像は、どの地域のデータからも浮かんでこない。やはり、子どもにとっての父親は、友だち化してしまった存在なのであろうか。では、子どもの抱く父親像にもう一步迫ってみることにしよう。

表5 お父さんの生活 × 校区の特性

(%)

	古くからの住宅地	新興住宅地	団地	商業地域	工業地域	農業地域	漁業地域
1. 朝起きたとき、仕事に行っている	9.3	9.3	4.8	12.2	20.9	15.3	(21.9)
2. 毎日、お父さんに「おはよう」と言う	35.7	34.3	(41.5)	34.6	25.3	29.3	30.0
3. お父さんと毎日、朝食を食べる	28.9	35.1	(35.8)	29.8	24.5	31.1	35.1
4. お父さんと毎日、夕食を食べる	33.4	33.8	31.0	30.1	31.3	34.4	(34.8)
5. 家のすぐそばに仕事場がある	25.6	19.1	18.4	23.3	15.4	18.5	(40.0)
6. 食事のときの席が決まっている	67.3	71.0	71.7	64.1	68.3	67.5	(76.0)
7. お父さんだけ、いつもおかずが多い	23.5	22.5	19.0	(25.4)	22.2	18.0	(25.3)
8. お父さんからいつもお風呂に入る	7.0	7.9	9.4	8.3	5.0	6.5	(10.5)
9. テレビを買うときは、いつもお父さんの考えで決まる	25.9	28.8	25.5	29.0	32.7	23.2	(48.6)
10. 塾を始めるときは、いつもお父さんの考えで決まる	24.1	24.3	13.5	22.0	18.5	18.2	(26.0)
*11. 家族とおしゃべりをする	33.7	34.3	31.4	27.4	37.7	27.9	(39.5)
*12. 家族をどこかに連れていく	25.1	20.9	23.8	21.7	27.5	17.7	(30.3)

*11、12は「とてもそう」の割合

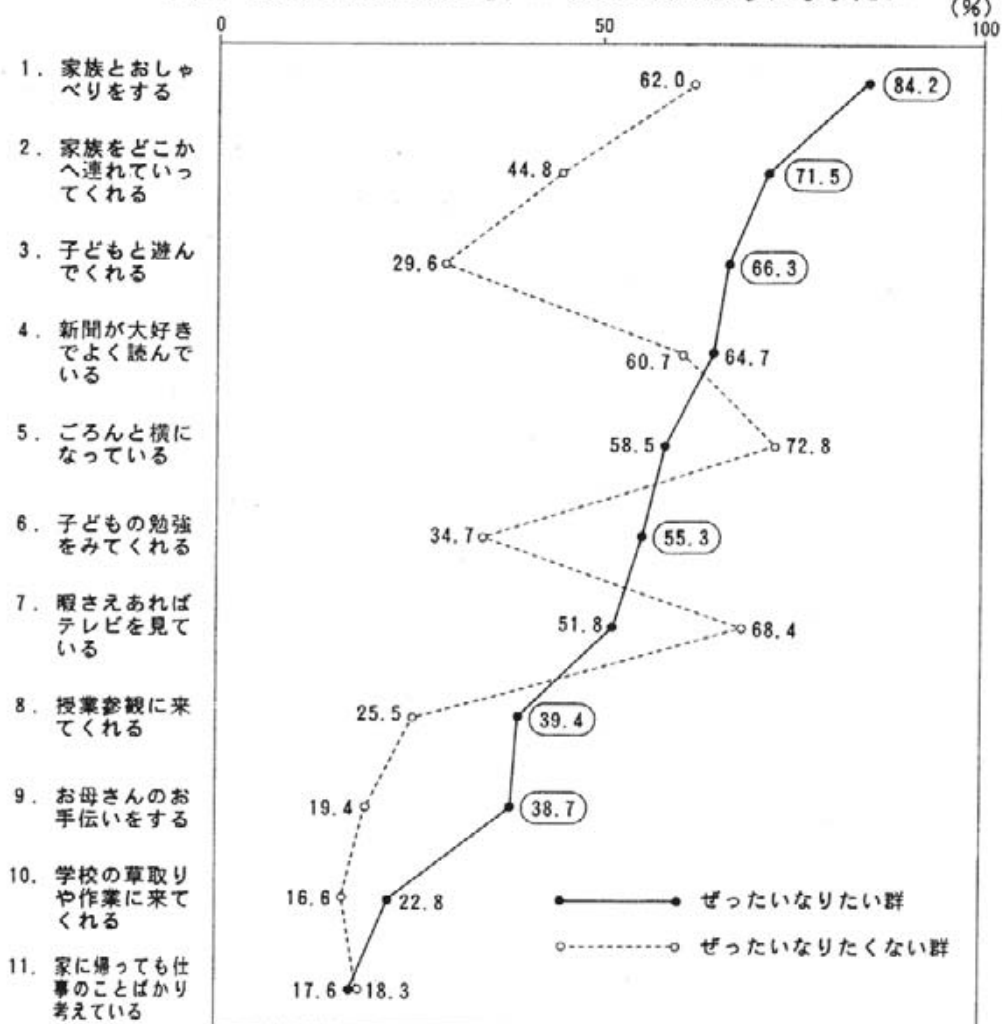
■ 子どもの成長モデルとしての父親像 III

前章のデータを見る限り、子どもたちは父親をかなり高く評価しており、父子関係も思ったより親密で、大きな信頼を寄せていることがわかる。しかし、改めて、「大きくなったら父親のようになりたいか（父親のよ

うな人と結婚したいか）」とたずねると、意外に肯定率が低い結果でもあった。

では今日、子どもたちはどんな父親像を自らの成長モデルとして取り入れようとしているのか。同一視の項目を用いながら、図36を

図36 家でのお父さんの姿 × お父さんのようになりたい



「とても・わりとそう」の割合

大きくなったらお父さんのようになりたいか

1 — 2 — 3 — 4
 ぜったい ぜったい ぜったい ぜったい
 になりたい なりたい なりたい なりたい
 (結婚したい) (結婚したい) (結婚したい) (結婚したい)

まとめてみた。実線で示されている、大きくなったら、「ぜったいお父さんのようになりたい（結婚したい）」群と点線の「ぜったいなりたくない」群との差の大きな項目は、図中の数値に○をつけたように、家族や子どもの世話をよくするかどうかを表れている。逆に家族とかかわらず、5「ごろんと横になっている」、7「暇さえあればテレビを見ている」自分勝手な父親は、子どもの目標になっていない。

言いかえれば、子どもは家族や自分とのかかわりの中で父親を評価しようとしており、

自分の「モデル」として取り入れようとする。そうした役割を果たさない父親は、子どもの成長に影響力をもたないことが推測される。こうした中でわれわれは、今日的なタイプの父親の姿として「家族や子どもの世話をこまめにして、評価を得ている父親像」を指摘できそうである。

しかし子どもの成長にとって、「父親はやさしく、よく世話をしてくれる人」だけでいいのだろうか、疑問も生まれてくる。この点について、次に検討してみたい。

■「世話をする」父親をめぐる III

こうした新しいタイプの父親像を、ひとまず「世話をする父親」と名づけ、そうした父親を抽出するために合成点スケールを用いることにしよう。図36の項目から家族や子どもの世話に関する4つの項目を選び、図37にあるように、その反応を得点化し、それを加算したものを「世話をする父親」合成点とした。4つの項目全てに「とてもそう」と答えた場合が16点、逆に、全て「ぜんぜんそうでない」場合が4点となる。合成点の分布状況は、図の下にあるように、平均10.1点を中心にほぼ両側にひろがっており、個人差が大きいことがうかがえる。

ここでは、図の左側、16点～14点の261人を「世話をする父親」群、図の右側7点～4点、457人を「世話をしない父親」群として、両群を比較していくことにしよう。

まず、両群の父親たちが日ごろ家庭でどう過ごしているのか、図38で概観しておきたい。上位の、家族や子どもとのかかわりに関する項目では、どれも開きが大きいのは当然としても、「世話をする父親」群は、3「子どもの勉強もよくみてやるし」、7「お母さんのお手伝いもする」というように、家庭内での仕事を妻と分担して果たしていることがわかる。

図37 「世話をする父親」合成点スケール

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 家族とおしゃべりする	4点	3点	2点	1点
2. 家族をどこかへ連れて いってくれる				
3. 子どもと遊んでくれる				
4. 授業参観に来てくれる				

↓ 合計して

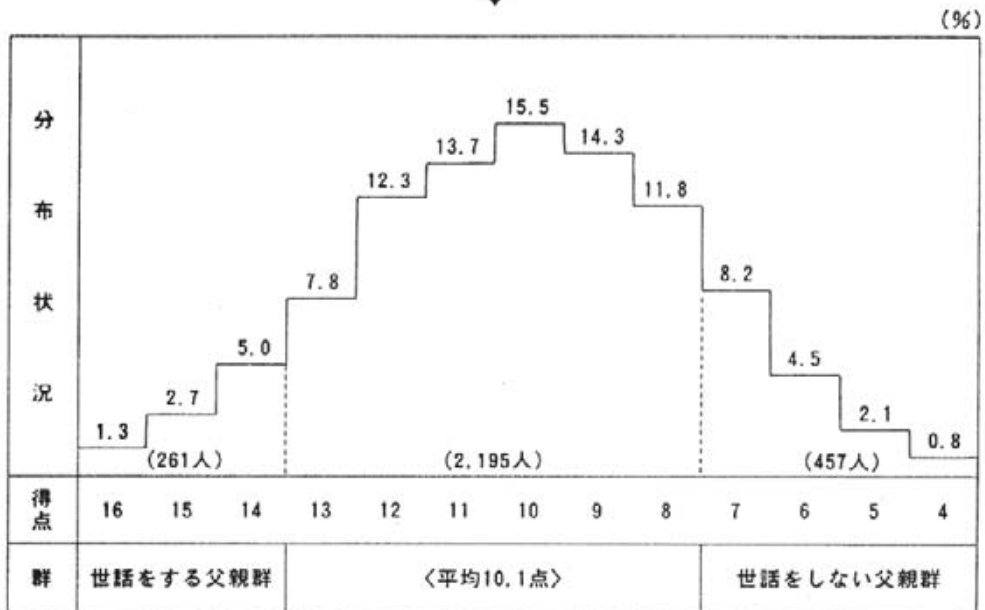
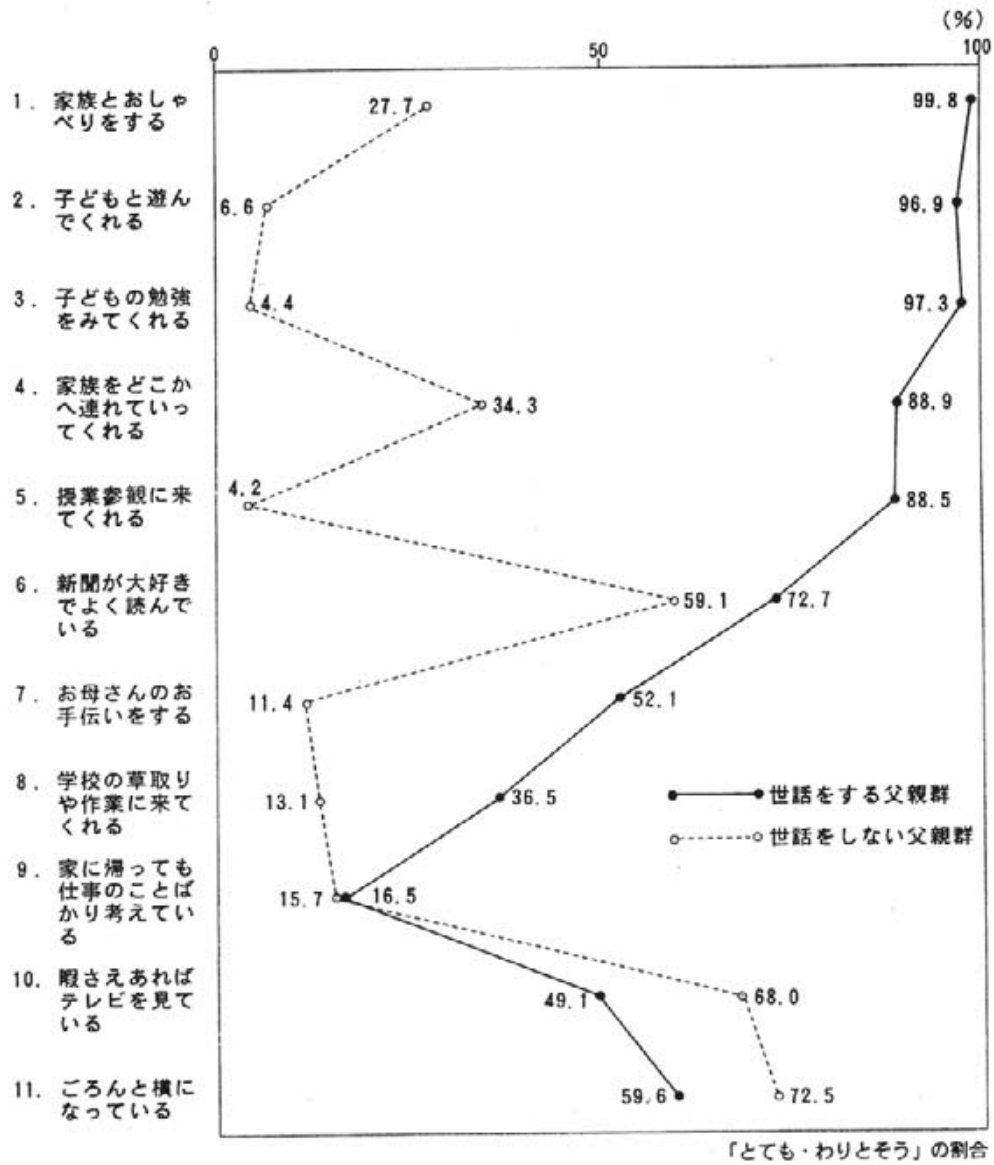


図38 家での姿 × 「世話をする父親」両群比較

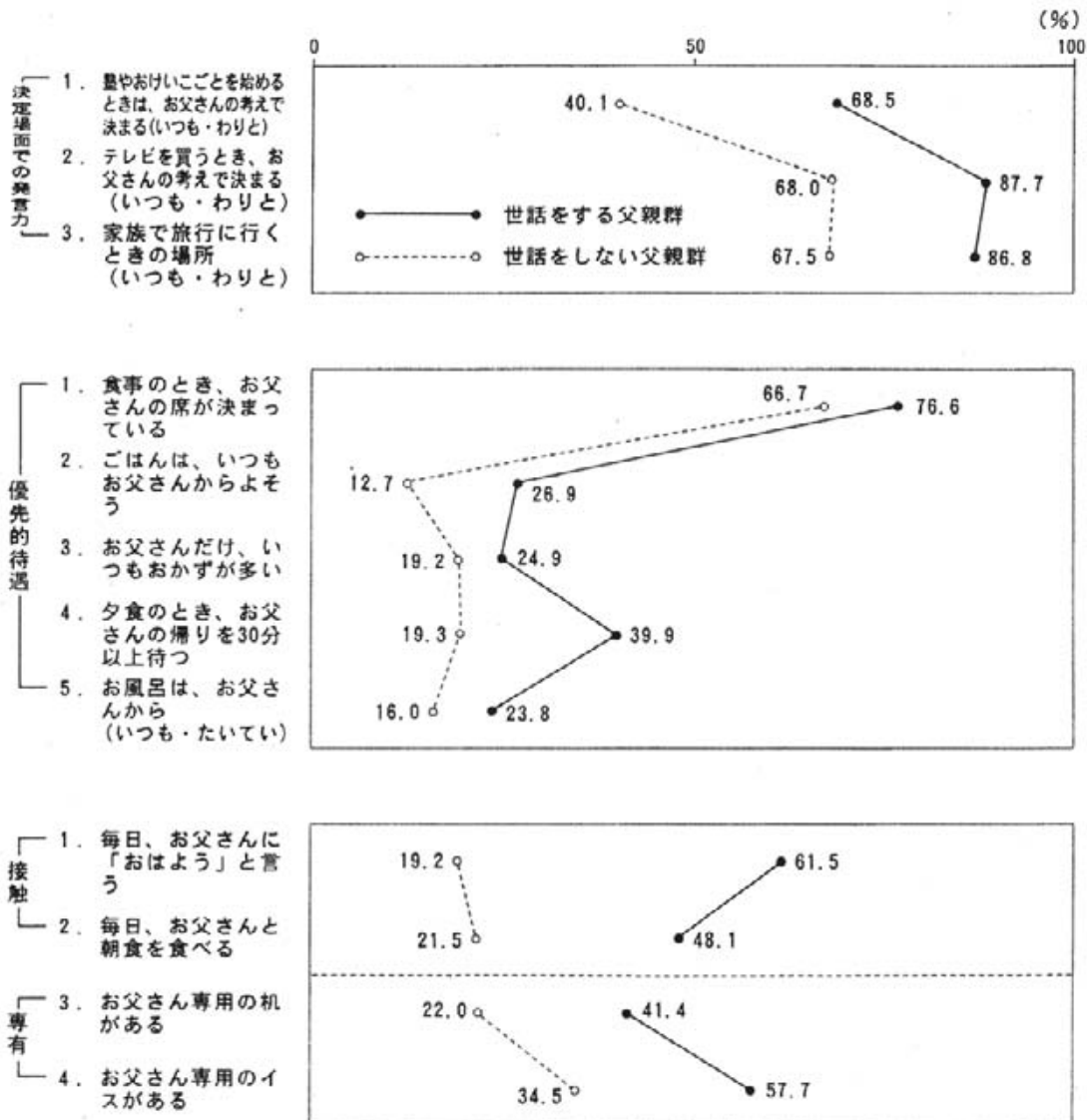


■ 力をもつ父親 IIII

では、一見、母親役割に接近しつつあるかに見える「世話をする父親」たちは、家族の中で、権威ある父親としての役割を果たしていないのだろうか。この点を見るため、関連するいくつかの項目を取り出し、両群の比較を試みてみた。図39がそれである。

図は上から順に、「決定」への参加に関する3項目、家族から形の上によ「立てられている」かに関する5項目、その他4項目となっている。これを見ると、図中の全ての項目で、実線の「世話をする父親」群の数値が高く、家庭内で力を持ち、リーダー的役割を

図39 父親像 × 「世話をする父親」両群比較



も果たす、信頼される父親の位置にあることが示されている。

また、「世話をする父親」たちは、子どもが悪いことをしたときには、決してそれを許容しない様子も表6に示されている。1「人の物をとったり」、2「友だちにけがをさせたり」すれば、7～8割の父親がきちんと叱っているのである。一方、「世話をしない父親」群では、これらの上位2項目についても、「軽く注意する」や「何も言わない」の数値がむしろ高いくらいなのである。

これまで、父親はパーソンズの図式を使えば、いわゆる「手段的機能」を、母親は「表出的機能」をもった存在と考えられてきた。そして、父親が母親のように子どもの世話を

し、家族とのかかわりが親密であると、とかくその権威が低下するかのような言われ方がされてきた。近年の、「父親の友だち化」への憂いは、それを懸念したものと言えよう。しかし、ここまでの調査データからは、父親が家庭内で子どもの世話をする役割をとったからといって、父親としての信頼やしつけの機能が揺らぐわけではないことが明らかにされたことになる。むしろ、いわゆる今日的な父親像として「世話をする父親」群に代表されるような、世話をする機能と、家庭内である種の力（パワー）と権威とを合わせもった新しいタイプの父親たり得ることが明らかにされたと言えるだろう。

表6 子どもの叱り方（予測）×「世話をする父親」両群比較

(%)

こんなことをしたら	父親のタイプ	どなったりぶったりする	お説教をする	軽く注意する	きっと何も言わない
1. 人の物をとったとき	世話をする群	35.9 V	40.9	20.7 ^	2.5 ^
	世話をしない群	30.6	38.4	23.4	7.6
2. 友だちにけがをさせたとき	世話をする群	26.8 V	45.1	24.0 ^	4.1 ^
	世話をしない群	16.8	45.0	28.8	9.4
3. うそをついたとき	世話をする群	20.7 V	36.3 V	34.8 ^	8.2 ^
	世話をしない群	16.2	30.6	39.0	14.2
4. お行儀が悪かったとき	世話をする群	6.9	11.9 V	76.2 V	5.0 ^
	世話をしない群	6.9	8.5	68.1	16.5
5. 通知表が下がったとき	世話をする群	3.9	17.4 V	57.1	21.6 ^
	世話をしない群	4.2	10.3	55.8	29.7

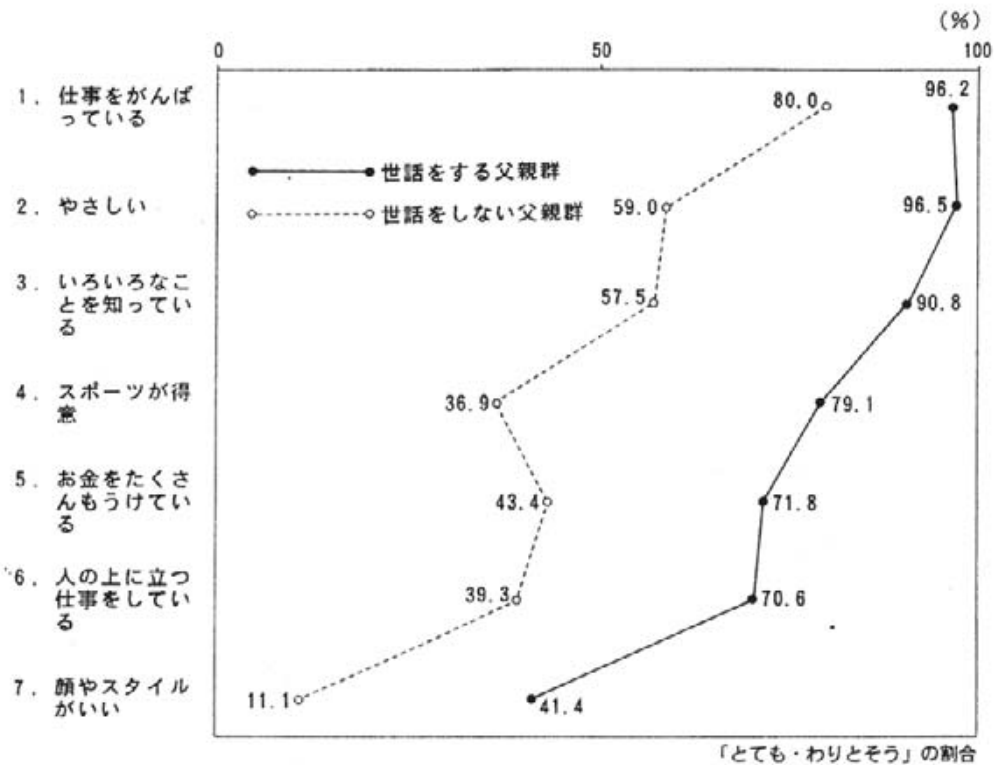
■ マルチ・ロール型の父親像 III

今回の全国調査を通してわれわれは、「大きく、強く」しかも「よく子どもの世話し、家族にも尽くす」父親の姿を見いだした。こうしたタイプの父親を仮に「マルチ・ロール型の父親」と名づけてみよう。こうしたマルチ・ロール型の父親たちを、子どもはどのように評価しているのだろうか。「世話をする父親」合成点スケールを用いて、この点を見とみることにしよう。

図40は、社会的にも、人格的にも、「世話をする父親」群は、子どもから高く評価されていることを示している。

また、母親の存在と比較するため、表7の10の項目を用いて、父親と母親のイメージをたずね、「世話をする父親」群の数値をあげてみた。表中の○印が示すように、「体が丈夫」「仕事が大変」「よく遊んでくれる」では、断然母親よりも父親のもつ特性である

図40 自慢したいこと × 「世話をする父親」両群比較



と評価されており、続く4つの項目でも同様の傾向がうかがえる。「力強く、頼もしい」父親イメージをもちながら、しかも「やさしさ」や「明るさ」のような（いわば）母親的イメージをも合わせもった父親像が子どもたちの中に根づいてきていることがわかる。

「父親が見えなくなった」と言われて久しいが、こうしてデータを見ていくと、父親は

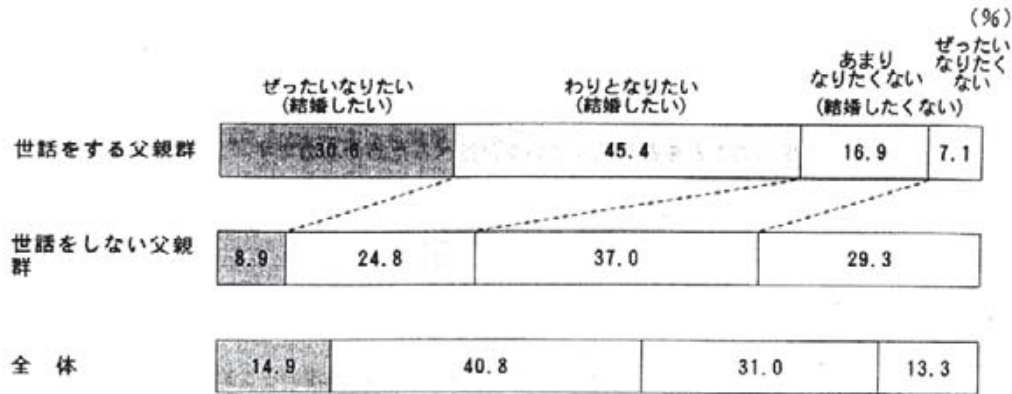
不在でも見えなくなってもいない。新しい「マルチ・ロール型」の父親として、子どもの側にいる——と表現されるべきであろう。

また、マルチ・ロールを果たす父親たちは図41に見られるように、子どもの同一視の対象としても十分機能していることがわかる。「世話をしない父親」群との数値の開きはかなりなものがある。

表7 お父さんとお母さんのイメージ（世話をする父親群）

	ぜったいお父さん	ややお父さん	同じくらい	ややお母さん	ぜったいお母さん
1. 体が丈夫	47.9	13.9	27.8	4.2	6.2
	61.8			10.4	
2. 仕事が大変	37.9	15.4	35.1	5.0	6.6
	53.3			11.6	
3. よく遊んでくれる	37.5	22.4	31.2	5.8	3.1
	59.9			8.9	
4. いばっている	12.1	17.3	57.1	7.4	6.1
	29.4			13.5	
5. 頼りになる	25.5	14.3	48.3	5.0	6.9
	39.8			11.9	
6. 疲れている	18.4	13.3	49.2	8.2	10.9
	31.7			19.1	
7. やさしい	18.8	9.2	59.3	4.6	8.1
	28.0			12.7	
8. うるさく注意する	8.6	11.7	27.6	32.6	19.5
	20.3			52.1	
9. 明るい	17.7	5.0	64.3	3.8	9.2
	22.7			13.0	
10. おしゃれ	2.8	2.4	18.3	34.9	41.6
	5.2			76.5	

図41 お父さんのようになりたい × 「世話をする父親」両群比較



■ まとめ III

子どもの目を通して、今日の父親像を明らかにする作業が進むほどに、かつての父親像とは微妙に異なった、マルチ・ロール型の父親像が、子どもたちからも評価され、家庭内での地位を築いていることが見いだされた。そして、かつての父親役割に加えて、母親的な役割をもこなしている新しい父親像は、決

して父親性も男性性も失うことなく、子どもの同一視の対象となりえていた。われわれの社会が、男女共同参加型の社会に移行しつつあると言われる中で、今回見いだされた結果は、1つの新しい父親像のモデルとして、父親たちに勇気を与えるものと言えるのではないだろうか。

ちやうさのおねがい



これはテストではありません。日本の子どもたちにたくさんおねがいで、みなさんがお父さんのことをどう思っているか調べるためのものです。思ったとおりに教えてください。

やりかたの練習

あなたはカレーライスが好きですか？

とても かなり ふうふ すこし とても
好き すき ふう きれい きれい
1 ————— ② ————— 3 ————— 4 ————— 5

あなたがもしカレーライスを だと思ったら
上のように番号のところを○でかこんでください。

① まず、あなたのことについて教えてください。

- ① 学校の名前…………… () 小学校
- ② 学年…………… (5) 年
- ③ 男女…………… (1. 男子 2. 女子)
- ④ お父さん…………… (1. いる 2. 仕事で遠くに住んでいる 3. いない)

これからずっときいていくのは、あなたのお父さんのことです。お父さんがいない人や仕事で遠くに住んでいる人は、かわりにお母さんのことだとして、答えられるところだけ教えてください。

② あなたのお父さんの毎日の生活についてききます。

① あなたが朝起きたとき、お父さんはふうふ何をしていますか。

仕事に ごはんを終わって 朝のしたく ごはんを まだ その他
行っている (仕事のじゅんび) をしている 食べている ねている
(もう仕事を) (仕事のじゅんび) をしている 食べている ねている
1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

② あなたは、お父さんに「おはよう」といいますか。

毎日 いう	わりと いう	いったり いわなかったり	あまり いわない	ぜんぜん いわない
1	2	3	4	5

③ あなたは、お父さんといっしょに食事をしますか。

	毎日いっしょに 食べる	週に4~5回 いっしょ	週に2~3回 いっしょ	週に1回くらい いっしょ	ほとんどいっしょに 食べない
1. 朝食………	1	2	3	4	5
2. 夕食………	1	2	3	4	5

④ お父さんは何時ごろ仕事に出かけていきますか。

- ふつう………
午前 時ごろ出かける
午後
- きまっていない
- 家で仕事をするので外には行かない

⑤ お父さんは何時ごろ仕事から帰ってきますか。

- ふつう………
午前 時ごろ帰ってくる
午後
- きまっていない
- 家で仕事をするので 時ごろ仕事をやめる

⑥ お父さんの仕事の場所は家から遠いですか。(乗り物に乗る時間、歩く時間をあわせて)

家の すぐそば	30分くらい かかる	1時間くらい かかる	1時間半 くらいかかる	2時間以上 かかる
1	2	3	4	5

⑦ あなたは、お父さんが仕事をしているのを見たことがありますか。

- お父さんが仕事をしているのをよく見る
- お父さんの仕事を何度か見たことがある
- 1度くらい、その場所に行ったことがある
- 今まで1度もない

● 資料1 調査票見本

③ あなたの家のことについてききます。

① 食事のとき、お父さんの席はきまっていますか。

きまっている だいたい
きまっている きまっていない
1 ————— 2 ————— 3

② ごはんをよそう順番はどうなっていますか。

いつも いつも (子ども以外の) とくに
お父さんから 子どもから ほかに人から きまっていない
1 ————— 2 ————— 3 ————— 4

③ お父さんだけ、ほかの人よりおかずが多いことがありますか。

いつも 多いときも いつも
多い ある みんなと同じ
1 ————— 2 ————— 3

④ お父さんが夕食の時間になっても帰ってきません。あなたの家ではどうしますか。

まずに 10分くらい 30分くらい 1時間 いつまでも
食べはじめる ならまつ ならまつ くらいまつ まつ
1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

⑤ おふろに入る順番はどうなっていますか。

いつも たいてい きまって (おふろやに)
お父さんから お父さんから いない 行く
1 ————— 2 ————— 3 ————— 4

⑥ 家族で次のことをきめるとき、お父さんの考えはどのくらい大切にされますか。

いつも わりと すこし ぜんぜん
お父さんの お父さんの考えで お父さんの お父さんの考えは
考えできまる きめることが多い 考えもきく きかない
1. テレビを買うとき…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
2. お休みの日の夕食のおかず…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
3. 雑やおけいごごとをはじめるとき… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4
4. 家族で旅行に行くときの場所…………… 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4

④ 家でのお父さんのくらしについてききます。

- ① お父さんせん用の机がありますか…………… (1. ある 2. ない)
② お父さんせん用のテレビがありますか…………… (1. ある 2. ない)

- ③ お父さんせん用のイスかザブトンがありますか…… (1. ある 2. ない)
- ④ お父さんせん用の部屋がありますか…… (1. ある 2. ない)

⑤ あなたは、お父さんのことをどのくらい知っていますか。

- | | とてもよく
知っている | だいたい
知っている | あまり
知らない | ぜんぜん
知らない |
|---------------------|----------------|---------------|-------------|--------------|
| ① お父さんが今なかよくしている人…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② お父さんの子どもころの話…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ お父さんのしている仕事…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ お父さんのたん生日…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ お父さんの好きな食べ物…… | 1 | 2 | 3 | 4 |

⑥ お父さんとあなたはどんなことをして遊びますか。おもなものを2つ書いてください。

--	--

⑦ あなたのお父さんは家にいるとき、どんなことをしていますか。

- | | とても
そう | わりと
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
|------------------------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| ① お母さんのお手伝いをする…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 家族とおしゃべりをする…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ ごろんと横になっている…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ ひまさえあればテレビを見ている…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 子どもと遊んでくれる…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 子どもの勉強をみてる…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 家に帰ってもお仕事のことばかり
考えている…… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ 新聞が大すきでよく読んでいる…… | 1 | 2 | 3 | 4 |

● 資料 1 調査票見本

- | | とても
そう | わりと
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
|---|-----------|-----------|--------------|---------------|
| ⑨ 家族をどこかへつれていって
くれる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑩ じい ^{おじい} さんや
おばあ ^{おばあ} さんに
来てくれる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑪ 学校の草取りや作業などに
来てくれる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

⑧ 次のことは、お父さんとお母さんのどちらにあてはまりますか。

- | | ぜったい
お父さん | やや
お父さん | 同じ
くらい | やや
お母さん | ぜったい
お母さん |
|-----------------|--------------|------------|-----------|------------|--------------|
| ① 明るい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② うるさく注意する…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ いばっている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ たよりになる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 仕事がいへん…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ やさしい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ よく遊んでくれる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ おしゃれ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ 体がじょうぶ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ つかれている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

⑨ お父さんは、ふだんのあなたのようすを気にしてくれていますか。

- | | しょっちゅう
きく | ときどき
きく | あまり
きかない | ぜんぜん
きかない |
|---------------------------------------|--------------|------------|-------------|--------------|
| ① 宿題をやったか…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② テストの点数…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 勉強 ^{しゅうぎょう} やおけいごとのこと…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 学校でのできごと…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 友だちのこと…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

10 あなたは、お父さんについて、友だちに自まんでできることがありますか。

- | | とても
そう | わりと
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
ちがう |
|----------------------|-----------|-----------|--------------|-------------|
| ① 顔やスタイルがいい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② スポーツがとくい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 仕事をがんばっている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ お金をたくさんもうけている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 人の上に立つ仕事をしている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ いろいろなことを知っている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ やさしい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

11 お父さんは、あなたのことをどのくらい知っていますか。

- | | とてもよく
知っている | だいたい
知っている | あまり
知らない | ぜんぜん
知らない |
|--------------------------------------|----------------|---------------|-------------|--------------|
| ① なかよしの友だちの名前…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 担任 <small>かんにん</small> の先生の名前…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ あなたが、今、何年何組か…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

12 もしも、次のようなことをあなたがしたら、お父さんはどのくらいおこりますか。

- | | どなったり
ぶったりする | せうじょう
お訓教を
する | 軽く注意
する | きつと何も
いわない |
|--|-----------------|---------------------|------------|---------------|
| ① おぎょうぎが悪かったとき…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 通信簿 <small>つうしんぼ</small> （通知表）が下がったとき… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ うそをついたのがばれたとき…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 友だちにけがをさせたとき…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 人の物をとったとき…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

13 あなたは大きくなったら、お父さんのようなせいかくや心の人になりたいと思いますか。（女の子はお父さんのような人と結婚けっこんしたいと思いますか。）

- | ぜったい
なりたい
（結婚したい） | わりと
なりたい
（結婚したい） | あまり
なりたくない
（結婚したくない） | ぜったい
なりたくない
（結婚したくない） |
|-------------------------|------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |

● 資料1 調査票見本

⑭ あなたのお父さんはどんな仕事をしていますか。

1. 会社や学校、役所などにつとめている
2. 工場につとめている
3. お店につとめている
4. 自分でお店や小さい会社、工場などをやっている
5. 農業や漁業（りくぎょう）をやっている
6. その他（ ）
7. わからない

⑮ さいごにおたずねします。

① あなたのお父さんは何さいくらいですか。

1. 35さいより若い
2. 36～40さい
3. 41～45さい
4. 46さい以上

② あなたのお母さんは仕事をしていますか。

1. していない
2. している
3. お母さんはいない

→ 次のどれですか

- ア. 1日のおつとめ
- イ. パートタイム
- ウ. 自分の家の仕事
（お店や農業など）
- エ. ないしょく

～これで終わります。長い間ありがとうございました。

●資料2 基礎集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目	全体		性別	
	男子	女子	男子	女子
[1] サンプル数	1. 男子	1,520		
	2. 女子	1,478		
	1. いる	92.1	92.2	92.1
	2. 仕事で遠くに住んでいる	4.2	3.9	4.5
	3. いない	3.7	3.9	3.4
お父さんの毎日の生活の様子	1. 仕事に行っている	11.6	11.2	12.0
	2. 朝のしたくをしている	14.1	14.1	14.0
	3. ごはんを食べている	16.9	16.1	17.7
	4. まだ寝ている	39.4	41.3	37.5
	5. その他	18.0	17.3	18.8
お父さんと「おはよう」と言うか	1. 毎日言う	33.6	32.7	34.4
	2. わりと言う	18.2	18.8	17.6
	3. 言ったり言わなかったり	25.1	23.0	27.2
	4. あまり言わない	13.6	13.1	14.2
	5. ぜんぜん言わない	9.5	12.4	6.6
お父さんと一緒に食事するか	1. 毎日一緒に食べる	31.2	31.8	30.3
	2. 週に4~5回一緒に	16.7	16.3	17.1
	3. 週に2~3回一緒に	15.5	15.4	15.7
	4. 週に1回くらい一緒に	12.7	12.6	12.9
	5. ほとんど一緒に食べない	23.9	23.9	24.0
夕食	1. 毎日一緒に食べる	32.7	32.3	32.8
	2. 週に4~5回一緒に	26.3	25.8	26.9
	3. 週に2~3回一緒に	20.4	20.6	20.3
	4. 週に1回くらい一緒に	9.7	9.6	9.9
	5. ほとんど一緒に食べない	10.9	11.7	10.1
[2] お父さんの毎日の生活の様子	仕事に出かける時間			
	1. 午前6時前	3.4	4.0	2.9
	2. 6時台	6.0	6.8	5.3
	3. 7時台	28.1	28.1	28.3
	4. 8時台	31.9	31.8	32.0
	5. 9時台	7.0	7.1	6.1
	6. 10時以降	3.2	3.3	3.3
	7. 決まっていない	15.2	14.3	16.2
家で仕事をす	5.2	4.6	5.9	
仕事から帰ってくる時間	6.7	6.8	6.6	
1. 午後6時前	14.8	14.4	15.1	
2. 6時台	13.7	14.6	12.9	
3. 7時台	10.0	10.3	9.6	
4. 8時台	7.6	7.7	7.4	
5. 9時台	6.3	6.7	5.8	
6. 10時台	7.2	7.7	6.8	
7. 11時以降	33.7	31.8	35.8	
8. 決まっていない	21.8	22.5	21.8	
仕事場所の	50.6	50.6	50.6	
1. 家のすぐそば	14.3	14.3	14.3	
2. 30分くらいかかる	7.9	8.1	7.9	
3. 1時間くらいかかる	5.4	4.5	5.4	
4. 1時間半くらいかかる	16.5	15.6	17.4	
5. 2時間以上かかる	36.4	35.8	35.8	
1. 仕事をしているのをよく見る	28.3	28.1	28.6	
2. 仕事を何度か見たことがある	18.8	19.5	18.2	
3. 1度くらい、行ったことがある				
4. 今まで1度もない				

質問項目	質問項目	全体	性別	
			男子	女子
④ お父さんの専用	机	30.1	30.8	29.3
	テレビ	69.9	69.2	70.7
	イス	16.9	17.7	16.1
	部屋	83.1	82.3	83.9
⑤ お父さんのことを知っているか	1. ある	44.9	43.2	46.6
	2. ない	55.1	56.8	53.4
	1. とてもよく知っている	32.2	33.0	31.3
	2. だいたい知っている	67.8	67.0	68.7
	3. あまり知らない	17.4	19.6	15.1
	4. ぜんぜん知らない	36.3	33.9	38.7
	1. とてもよく知っている	27.3	25.7	28.9
	2. だいたい知っている	19.0	20.8	17.3
	3. あまり知らない	13.7	13.0	14.4
	4. ぜんぜん知らない	36.5	33.0	39.9
	1. とてもよく知っている	35.5	35.8	35.4
	2. だいたい知っている	14.3	18.2	10.3
	3. あまり知らない	57.8	59.9	55.5
	4. ぜんぜん知らない	31.1	28.5	33.8
	1. とてもよく知っている	8.2	7.9	8.6
	2. だいたい知っている	2.9	3.7	2.1
3. あまり知らない	65.8	53.6	78.4	
4. ぜんぜん知らない	19.3	24.1	14.4	
⑦ お父さんが家にいるときの様子	誕生日	8.9	13.0	4.6
	好きな食べ物	6.0	9.3	2.6
	お母さん	29.5	28.3	30.9
	お父さん	31.0	28.8	35.2
⑦ お父さんが家にいるときの様子	1. とてもそう	26.9	27.7	26.1
	2. わりとそう	12.5	17.2	7.8
	3. あまりそうでない	4.9	4.7	5.2
	4. ぜんぜんそうでない	23.1	22.9	23.4
⑦ お父さんが家にいるときの様子	1. とてもそう	42.6	42.1	42.9
	2. わりとそう	29.4	30.3	28.5
	3. あまりそうでない	32.0	32.1	32.0
	4. ぜんぜんそうでない	42.3	40.2	44.4
⑦ お父さんが家にいるときの様子	1. とてもそう	21.0	22.1	19.8
	2. わりとそう	4.7	5.6	3.8
	3. あまりそうでない			
	4. ぜんぜんそうでない			

質問項目	質問項目	全体	性別	
			男子	女子
③ お父さんの家の中の地位	食事の席	68.2	66.7	69.7
	1. 決まっている	22.3	22.2	22.5
	2. だいたい決まっている	9.5	11.1	7.8
	3. 決まっていない	17.2	14.9	19.5
	1. いつもお父さんから	14.2	15.0	13.3
	2. いつも子どもから	3.9	3.0	4.7
	3. 他の人から	64.7	67.1	62.5
	4. とくに決まっていない	22.5	20.5	24.6
	1. (他の人より)いつも多い	49.8	47.7	52.0
	2. 多いときもある	27.7	31.8	23.4
	3. いつもみんなと同じ	54.5	56.2	53.0
	1. 待たずに食べ始める	18.4	17.5	19.3
	2. 10分くらいなら待つ	16.8	15.5	18.0
	3. 30分くらいなら待つ	5.1	5.3	4.9
	4. 1時間くらい待つ	5.2	5.5	4.8
	5. いつまでも待つ	7.5	7.1	7.9
1. いつもお父さんから	12.4	11.4	13.5	
2. たいていお父さんから	79.0	80.5	77.4	
3. 決まっていない	1.1	1.0	1.2	
4. お風呂に行く	27.6	28.8	26.5	
1. いつもお父さんの考えで決まる	50.6	47.4	53.8	
2. わりとお父さんの考えで決まる	18.3	19.5	17.0	
3. 少してお父さんの考えも聞く	3.5	4.3	2.7	
4. ぜんぜん聞かない	6.5	6.5	6.4	
1. いつもお父さんの考えで決まる	16.2	15.9	16.6	
2. わりとお父さんの考えで決まる	42.8	38.5	47.2	
3. 少してお父さんの考えも聞く	34.5	39.1	29.8	
4. ぜんぜん聞かない	22.1	22.8	21.3	
1. いつもお父さんの考えで決まる	32.7	30.0	35.6	
2. わりとお父さんの考えで決まる	32.6	32.2	33.0	
3. 少してお父さんの考えも聞く	12.6	15.0	10.1	
4. ぜんぜん聞かない	38.3	38.4	38.2	
1. いつもお父さんの考えで決まる	41.2	40.0	42.4	
2. わりとお父さんの考えで決まる	15.9	15.9	16.0	
3. 少してお父さんの考えも聞く	4.6	5.7	3.4	
4. ぜんぜん聞かない				

質問項目	全体	性別		
		男子	女子	
明るい	1. ぜったいお父さん	10.4	11.1	9.7
	2. ややお父さん	8.9	9.4	8.5
	3. 同じくらい	57.4	57.4	57.4
	4. ややお母さん	13.3	13.3	13.3
	5. ぜったいお母さん	10.0	8.8	11.1
注ろ意する	1. ぜったいお父さん	8.9	10.6	7.1
	2. ややお父さん	10.6	11.7	9.4
	3. 同じくらい	27.5	29.0	26.0
	4. ややお母さん	28.9	24.4	33.6
	5. ぜったいお母さん	24.1	24.3	23.9
いばっている	1. ぜったいお父さん	13.5	14.4	12.7
	2. ややお父さん	21.9	19.8	24.0
	3. 同じくらい	51.1	52.9	49.0
	4. ややお母さん	8.2	6.6	9.9
	5. ぜったいお母さん	5.3	6.3	4.4
頼りになる	1. ぜったいお父さん	18.3	21.2	15.4
	2. ややお父さん	16.1	18.4	13.8
	3. 同じくらい	46.2	44.0	48.4
	4. ややお母さん	9.7	8.5	10.9
	5. ぜったいお母さん	9.7	7.9	11.5
仕事が大変	1. ぜったいお父さん	33.3	37.0	29.4
	2. ややお父さん	20.9	20.9	20.9
	3. 同じくらい	32.5	29.2	35.8
	4. ややお母さん	6.5	6.1	7.0
	5. ぜったいお母さん	6.8	6.8	6.9
やさしい	1. ぜったいお父さん	13.7	13.7	13.7
	2. ややお父さん	11.6	12.2	11.0
	3. 同じくらい	54.8	52.5	57.2
	4. ややお母さん	9.9	11.0	8.8
	5. ぜったいお母さん	10.0	10.6	9.3
よく遊んでくれる	1. ぜったいお父さん	17.5	22.1	12.9
	2. ややお父さん	28.2	30.2	26.0
	3. 同じくらい	36.4	34.8	38.1
	4. ややお母さん	12.3	8.4	16.3
	5. ぜったいお母さん	5.6	4.5	6.7

お父さんとお母さんのどちらにあてはまるか

⑧

質問項目	全体	性別		
		男子	女子	
こころなると横	1. とてもそう	29.1	29.6	28.7
	2. わりとそう	35.5	33.0	38.0
	3. あまりそうでない	26.6	27.7	25.5
	4. ぜんぜんそうでない	8.8	9.7	7.8
テレビを見る	1. とてもそう	26.4	29.1	23.6
	2. わりとそう	33.2	31.3	35.1
	3. あまりそうでない	30.8	29.9	31.8
	4. ぜんぜんそうでない	9.6	9.7	9.5
子どもと遊ぶ	1. とてもそう	16.7	17.6	15.8
	2. わりとそう	33.5	33.8	33.1
	3. あまりそうでない	36.1	35.2	37.1
	4. ぜんぜんそうでない	13.7	13.4	14.0
子どもをみめる	1. とてもそう	17.5	17.2	17.7
	2. わりとそう	28.7	28.6	28.9
	3. あまりそうでない	32.0	29.8	34.2
	4. ぜんぜんそうでない	21.8	24.4	19.2
お父さんが家にいるとき	1. とてもそう	4.0	4.8	3.2
	2. わりとそう	11.5	12.6	10.3
	3. あまりそうでない	46.2	46.3	46.2
	4. ぜんぜんそうでない	38.3	36.3	40.3
読新聞をよく	1. とてもそう	27.7	33.3	22.1
	2. わりとそう	36.4	33.6	39.1
	3. あまりそうでない	29.5	26.7	32.4
	4. ぜんぜんそうでない	6.4	6.4	6.4
家族を連れて行く	1. とてもそう	22.3	22.5	22.0
	2. わりとそう	38.0	38.1	38.1
	3. あまりそうでない	31.6	31.9	31.2
	4. ぜんぜんそうでない	8.1	7.5	8.7
英検を受ける	1. とてもそう	10.4	11.6	9.2
	2. わりとそう	20.9	21.1	20.7
	3. あまりそうでない	37.9	37.6	38.1
	4. ぜんぜんそうでない	30.8	29.7	32.0
英検を受ける	1. とてもそう	6.1	5.9	6.2
	2. わりとそう	12.6	12.4	12.8
	3. あまりそうでない	29.5	31.2	27.9
	4. ぜんぜんそうでない	51.8	50.5	53.1

⑦

質問項目	全体	性別	
		男子	女子
I お父さんのこと で自慢できること	4.2	4.4	3.9
	18.0	18.8	17.1
	50.0	48.2	52.0
	27.8	28.6	27.0
II お父さん を知っている か	22.6	26.2	18.8
	34.1	33.9	34.5
	29.6	26.6	32.6
	13.7	13.3	14.1
III お父さん を知っている か	55.0	56.5	53.4
	33.7	32.6	34.8
	7.7	6.5	9.0
	3.6	4.4	2.8
IV お父さん を知っている か	13.1	14.9	11.1
	42.2	41.5	43.0
	35.8	34.4	37.3
	8.9	9.2	8.6
V お父さん を知っている か	19.7	20.7	18.6
	31.3	32.1	30.4
	34.2	32.2	36.4
	14.8	15.0	14.6
VI お父さん を知っている か	34.8	35.9	33.7
	41.0	38.5	43.4
	18.8	19.1	18.5
	5.4	6.5	4.4
VII お父さん を知っている か	39.7	35.9	43.7
	40.2	40.6	39.6
	14.8	17.3	12.3
	5.3	6.2	4.4
VIII お父さん を知っている か	28.9	29.2	28.5
	39.5	38.3	40.8
	22.8	22.7	23.0
	8.8	9.8	7.7
IX お父さん を知っている か	36.4	36.5	36.3
	30.4	27.5	33.3
	21.8	22.6	21.0
	11.4	13.4	9.4

質問項目	全体	性別	
		男子	女子
I お父さんとお母さん のどちらに あてはまるか	2.2	1.8	2.5
	2.3	1.9	2.7
	18.6	19.5	17.7
	40.6	38.7	42.7
	36.3	38.1	34.4
II お父さんとお母さん のどちらに あてはまるか	41.7	48.3	35.0
	19.5	20.0	19.0
	27.9	21.8	34.0
	5.4	4.8	6.0
	5.5	5.1	6.0
III お父さんとお母さん のどちらに あてはまるか	17.2	20.9	13.4
	15.9	17.1	14.7
	47.7	42.8	52.9
	10.1	9.8	10.3
	9.1	9.4	8.7
IV お父さんとお母さん のどちらに あてはまるか	25.7	29.9	21.5
	37.6	36.4	39.0
	23.4	20.7	26.0
	13.3	13.0	13.5
	17.3	19.7	14.8
V お父さんとお母さん のどちらに あてはまるか	28.3	28.5	28.1
	30.8	28.3	33.5
	23.6	23.5	23.6
	15.8	18.1	13.5
	29.7	27.5	32.0
VI お父さんとお母さん のどちらに あてはまるか	26.3	22.2	30.4
	28.2	32.2	24.1
	16.2	16.9	15.4
	31.8	30.4	33.1
	30.7	30.2	31.3
VII お父さんとお母さん のどちらに あてはまるか	21.3	22.5	20.2
	10.6	11.3	9.9
	27.9	27.8	28.0
	35.1	33.4	35.9
	26.4	27.5	25.2

質問項目	質問項目	全体	性別	
			男子	女子
11 お父さんを知っているか	1. とてもよく知っている	66.2	66.0	66.3
	2. だいたい知っている	23.0	22.2	23.7
	3. あまり知らない	7.9	8.3	7.6
	4. ぜんぜん知らない	2.9	3.5	2.4
12 お父さんがどのくらい叱るか	1. ほとんど言わなかった	5.1	6.5	3.8
	2. 時々言わなかった	12.2	12.1	12.4
	3. 時々言わなかった	73.7	70.6	76.6
	4. ほとんど言わなかった	9.0	10.8	7.2
13 お父さんの仕事	1. ほとんど言わなかった	3.1	4.0	2.1
	2. 時々言わなかった	15.5	18.8	12.2
	3. 時々言わなかった	59.2	56.3	62.3
	4. ほとんど言わなかった	22.2	20.9	23.4
14 お父さんの仕事	1. ほとんど言わなかった	15.6	21.1	10.1
	2. 時々言わなかった	37.6	37.9	37.3
	3. 時々言わなかった	38.8	33.3	44.3
	4. ほとんど言わなかった	8.0	7.7	8.3
15 お父さん、お母さんの仕事	1. ほとんど言わなかった	18.1	20.7	15.3
	2. 時々言わなかった	49.6	47.0	52.5
	3. 時々言わなかった	27.0	26.7	27.2
	4. ほとんど言わなかった	5.3	5.6	5.0
16 お父さん、お母さんの仕事	1. ほとんど言わなかった	30.7	35.6	25.5
	2. 時々言わなかった	44.7	41.6	48.1
	3. 時々言わなかった	20.5	18.3	22.8
	4. ほとんど言わなかった	4.1	4.5	3.6
17 お父さん、お母さんの仕事	1. ほとんど言わなかった	14.9	18.7	11.2
	2. 時々言わなかった	40.8	44.4	37.0
	3. 時々言わなかった	31.0	25.6	36.5
	4. ほとんど言わなかった	13.3	11.3	15.3
18 お父さん、お母さんの仕事	1. ほとんど言わなかった	42.3	43.1	41.4
	2. 時々言わなかった	12.8	14.3	11.3
	3. 時々言わなかった	5.7	5.5	5.9
	4. ほとんど言わなかった	11.6	11.3	12.0
19 お父さん、お母さんの仕事	1. ほとんど言わなかった	2.9	3.3	2.5
	2. 時々言わなかった	19.7	17.2	22.3
	3. 時々言わなかった	5.0	5.3	4.6
	4. ほとんど言わなかった	7.1	6.9	7.3
20 お父さん、お母さんの仕事	1. ほとんど言わなかった	39.6	41.1	38.1
	2. 時々言わなかった	45.0	43.9	46.1
	3. 時々言わなかった	8.3	8.1	8.5
	4. ほとんど言わなかった	25.7	25.5	25.9
21 お父さん、お母さんの仕事	1. ほとんど言わなかった	72.7	72.9	72.6
	2. 時々言わなかった	1.6	1.6	1.5
	3. 時々言わなかった	37.6	38.2	37.0
	4. ほとんど言わなかった	20.8	19.0	22.7
22 お父さん、お母さんの仕事	1. ほとんど言わなかった	22.3	21.6	23.0
	2. 時々言わなかった	14.3	15.7	12.9
	3. 時々言わなかった	5.0	5.5	4.4
	4. ほとんど言わなかった	5.0	5.5	4.4